

熱海市伊豆山 復興事業計画

熱海市

目 次

第1章 計画の概要	1
1.1 計画の趣旨	1
1.2 計画の対象.....	2
1.3 計画の構成.....	4
第2章 復興計画の進捗管理.....	5
2.1 事業進捗管理の組織.....	5
2.2 事業進捗管理の方法.....	5
第3章 復興事業計画の個票.....	6
3.1 復興計画の基本理念.....	6
3.2 復興事業計画の内容.....	7
3.3 安全・安心の確保に関する取組.....	10
3.4 速やかな生活再建に関する取組.....	30
3.5 創造的復興に関する取組.....	52
第4章 全体計画図について	60

第1章 計画の概要

熱海市伊豆山復興事業計画（以下「復興事業計画」という。）の趣旨や対象、計画の構成などの概要を示します。

1.1 計画の趣旨

令和3年7月3日に発生した大規模土砂災害（以下「伊豆山土石流災害」という。）では、大量の土砂が逢初川を流下し、死者28名（直接死27名、関連死1名）という人的被害を引き起こし、142世帯・136棟の物的被害をもたらしました。

これまで、熱海市では、被災者が1日も早く安全・安心な生活を取り戻し、地区の持続的な発展を着実に、かつ創造的に進めていくとともに、このような災害を二度と繰り返さないように、復興の理念や考え方、施策の方向性を示した「熱海市伊豆山復興基本計画」（以下「復興基本計画」という。）を令和4年6月に策定したところです。

また、復興基本計画で示した基本理念や基本方針、今後取り組むべき施策を受け、まちづくりに関する分野別方針や整備イメージを明らかにするとともに、被災地の復旧・復興を迅速かつ計画的に推進することを目的とした「熱海市伊豆山復興まちづくり計画」（以下「復興まちづくり計画」という。）を令和4年9月に策定しました。

さらに、国や静岡県と連携して砂防堰堤の整備や逢初川の改修に向けた設計等を進め、警戒区域（災害対策基本法第63条）を令和5年9月に解除し、被災者の生活再建に向けた動きが本格的に始まりました。一方で、伊豆山土石流災害からの復興に向けては、被災者の生活再建に関するハード・ソフトの両面から実施すべき取組が残されています。

こうした背景を踏まえ、復興まちづくり計画で示された将来像を実現するために、復興事業計画では、復興基本計画及び復興まちづくり計画において示した基本方針・主要施策に基づいた取組目標や具体的な実施内容、実施スケジュール等を具体化することで、進捗管理を円滑にし、復興に関する各種取組を計画的に行うことを目的としています。

伊豆山の復興に関しては上述の3計画がそれぞれ連携した復興計画を基に、1日も早い復興に向けた取組を実行していくこととします。

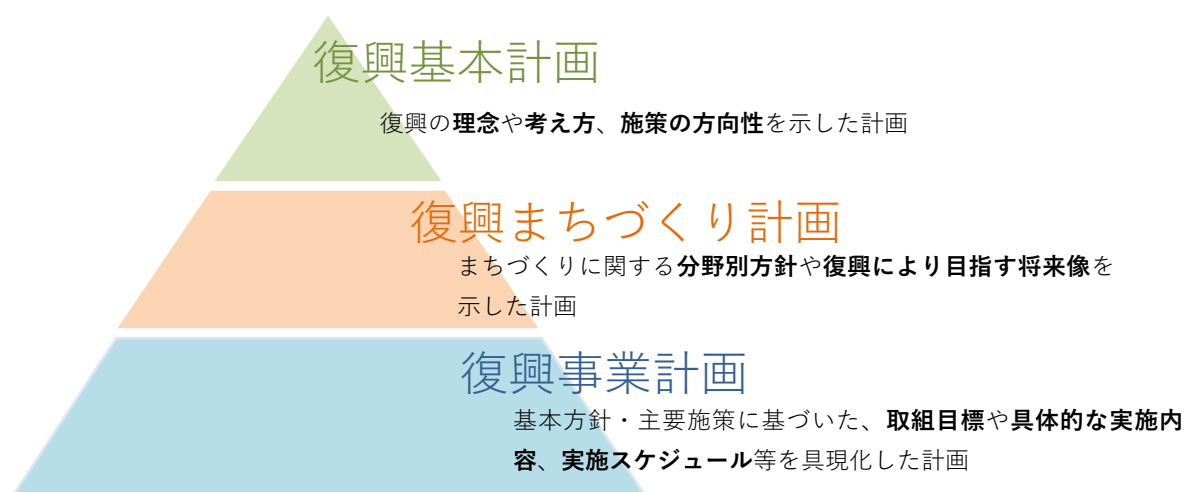


図 伊豆山復興計画の体系

1.2 計画の対象

(1) 計画対象範囲

本計画により、実施する事業や取組の対象範囲は、復興基本計画に示された各種施策の実現化を図るため、復興基本計画の計画対象範囲を踏襲します。

ただし、復興まちづくりの必要条件となる安全・安心の確保については、広域的な視点で調整が必要となるため、逢初川の流域全体で検討します。

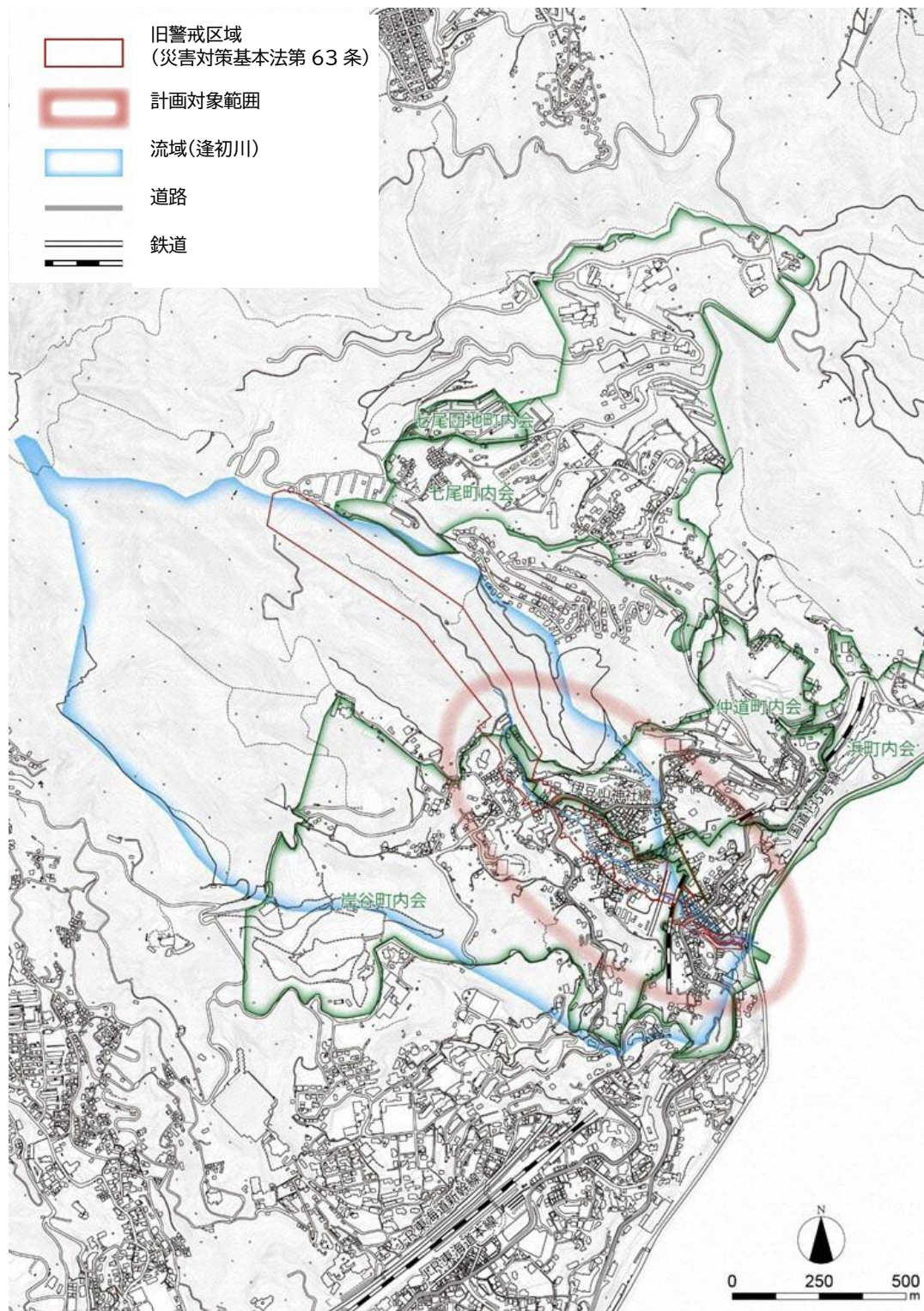


図 流域（逢初川）及び計画対象範囲

(2) 計画期間

本計画の期間は、復興基本計画及び復興まちづくり計画を踏襲し、令和 6 年度までの短期、令和 8 年度までの中期、令和 9 年度以降の長期に分け、それぞれの期間が目指す目標は以下のとおりとします。

住宅の修繕によって戻れる住民が、上流の安全対策と連携した警戒区域の解除により、短期内に現地へ戻れることを目指します。

住宅が流出または被害の大きかった住民が現地に戻れるよう、短期から重点的にまちづくり事業を進め、中期中の現地再建を目指します。

区域全体の創造的な復興の取組は、中期・長期にかけて進め、実施可能なものから前倒しをしています。

また、各施策の具体的なスケジュールについては、第 3 章「復興事業計画の個票」の中で示します。

年度					
長期					
中期					
短期					
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度以降
被災地区の復興に向けた安全対策					
現地に戻るためのまちづくり					
創造的な復興まちづくり					

1.3 計画の構成

本計画は、復興計画の「進捗管理」の組織及び方法を定め、着実な復興を目指すとともに、復興基本計画に基づく具体的な取組やスケジュールを示した「復興事業計画」の個票によりまとめられています。

第1章 計画の概要	1. 計画の趣旨 2. 計画の対象 3. 計画の構成	復興事業計画の趣旨や対象、計画の構成などの概要を示します。
第2章 復興計画の進捗管理	1. 事業進捗管理の組織 2. 事業進捗管理の方法	計画の推進に向け、庁内をはじめとした関係機関における進捗管理体制を示します。
第3章 復興事業計画の個票	1. 復興計画の基本理念 2. 復興事業計画の内容 3. 安全・安心の確保に関する取組 4. 速やかな生活再建に関する取組	基本方針等に基づく具体的な取組やスケジュールを示します。
第4章 全体計画図	1. 全体計画図	ハード事業に関する計画の全体図を示します。

図 復興事業計画の構成

第2章 復興計画の進捗管理

復興計画の推進に向けては、庁内をはじめとした関係機関において毎年度計画の進捗管理を行います。

進捗管理に向けた組織体制やその進め方については以下に整理します。

2.1 事業進捗管理の組織

復興事業の進捗管理は、熱海市伊豆山復興推進本部（以下、推進本部）により実施します。推進本部は、熱海市長を本部長、副市長及び教育長を副本部長として、関係部署により構成されます。また、事務局を担当課（計画策定時は、観光建設部都市整備課復興調整室）として執行管理を行います。

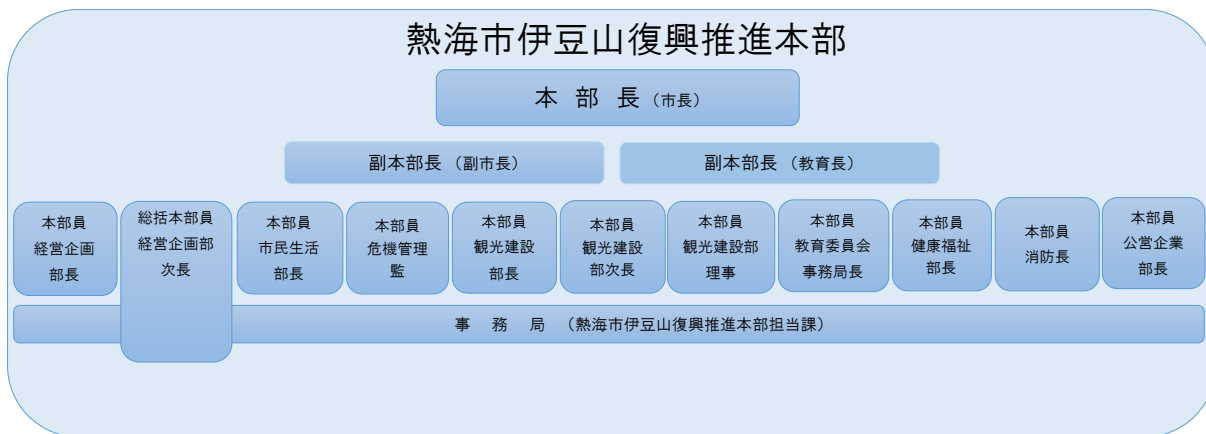


図 熱海市伊豆山復興推進本部の体制

2.2 事業進捗管理の方法

復興に向けた取組を着実に推進し、地域の将来像を実現するため、推進本部を中心に「PDCA サイクル」に基づいた進捗管理を毎年度実施し、計画の進捗状況を全庁的に点検・評価します。進捗管理の結果は復興に向けた進捗状況を市民の代表者及び学識経験者から構成する「熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会」との意見交換を行い、必要に応じて計画の見直しを弾力的に行います。



図 復興計画・復興事業に関する行政と地域の連携・協力に関する関係

第3章 復興事業計画の個票

復興事業計画の個票の内容を以下のとおり整理します。

3.1 復興計画の基本理念

復興基本計画で位置づけた基本理念は、復興計画全体の基本理念であることを踏まえ、本計画で位置づける事業や取組は、以下に示す基本方針に沿って整理します。

基本理念

地域が取り戻す 後世につなぐ安全・安心と魅力と絆
～住むマチ 集うマチ 安全・安心の伊豆山～



図 復興計画の基本理念及び基本目標・基本方針

3.2 復興事業計画の内容

(1) 計画の内容

伊豆山の復興に向けては「復興基本計画」で整理した事業や取組を、復興事業計画において実施内容やスケジュール等の項目を個票形式で具体化していきます。また、個票で整理される内容は以下の通りです。

- ・取組目標
- ・実施内容
- ・完了目標年度
- ・実施スケジュール
- ・総事業費
- ・目標値（実績値（昨年度/累積）、当初値、短期目標値、中期目標値、長期目標値）
- ・実施イメージ（必要に応じて）
- ・担当課

また、参考として「復興まちづくり計画」で位置づけたまちづくりとの関係性を整理します。

上記を踏まえ、個票形式で整理します。

1-1 達初川流域を一体とした流域管理への取組																																																	
取組目標	宅地造成及び特定盛土等規制法施行にかかる対応と宅地関係にかかる法令の整理																																																
実施内容																																																	
完了目標年度	令和12年度																																																
実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">短期</th><th colspan="3">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr> <tr> <th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="11">宅地造成法令整理及び的確な指導体制（県市）</td></tr> <tr> <td colspan="11">新盛土法にかかる情報収集</td></tr> </tbody> </table>					短期			中期			長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		宅地造成法令整理及び的確な指導体制（県市）											新盛土法にかかる情報収集										
短期			中期			長期																																											
R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
宅地造成法令整理及び的確な指導体制（県市）																																																	
新盛土法にかかる情報収集																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>取組みの具体内容</th><th>達成状況</th><th>事業費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>R7</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>R8</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>長期</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				年度	取組みの具体内容	達成状況	事業費	短期				R7				R8				長期																												
年度	取組みの具体内容	達成状況	事業費																																														
短期																																																	
R7																																																	
R8																																																	
長期																																																	
総事業費	〇〇〇百万円																																																
目標値	実績値(昨年度/累積)	当初値(R4)	短期目標値(R6)	中期目標値(R8)																																													
※実績値欄 昨年度:令和〇年度 累積:令和4年度～昨年度																																																	
実施イメージ																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降																																																	
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課																																																
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																	
復興まちづくり計画との対応	第3章 3 達初川流域管理保全方針(3)																																																
内容 ※復興まちづくり計画作成時点	●宅地造成及び特定盛土等規制法を盛土等規制の中核として、静岡県と熱海市で連携を強化し、達初川流域での盛土等を適切に規制していきます。																																																
○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項																																																	

個票の見方

・ **取組目標**：復興基本計画及び復興まちづくり計画で整理した「基本目標」、「基本方針」及び「主要な施策」を達成するために当該事業で目指す目標を整理しています。

・ **実施内容**：取組目標に応じた具体的な実施項目を整理しています。

・ **実施スケジュール**と**目標値**：短期・中期・長期で整理し、担当部署による進捗管理を行いながら、全庁的な達成状況を把握し、伊豆山の復興に向けて、復興計画の進捗管理を行うために整理しています。

・ **これまでの総括**と**今後の展望**

これまでの進捗と今後の方向性を示すことで実施内容の透明性を確保するために整理しています。

個票の見方

・取組目標：復興基本計画及び復興まちづくり計画で整理した「基本目標」、「基本方針」及び「主要な施策」を達成するために当該事業で目指す目標を整理しています。

・実施内容：取組目標に応じた具体的な実施項目を整理しています。

・実施スケジュールと目標値：短期・中期・長期で整理し、担当部署による進捗管理を行いながら、全庁的な達成状況を把握し、伊豆山の復興に向けて、復興計画の進捗管理を行うために整理しています。

・これまでの総括と今後の展望

これまでの進捗と今後の方向性を示すことで実施内容の透明性を確保するために整理しています。

基本目標	基本方針	主要な施策	取組目標	該当ページ
安全・安心の確保	安全なまちづくり	逢初川流域を一体とした流域管理への取組	宅地造成及び特定盛土等規制法施行にかかる対応と宅地関係にかかる法令の整理	P10
		地域の状況に応じた安全確保対策の推進	砂防堰堤の適切な維持管理	P11
			逢初川の河川改修	P12
		命を守る生活道路の整備	市道岸谷本線外道路・取付道路の整備	P13~14
			市道の整備、適切な維持管理	P15~16
		避難所・避難路の整備	伊豆山小学校の指定避難所機能の向上、地域の公民館等の一時避難場所の活用検討	P17
			災害ボランティアセンター活動拠点、資機材の整備	P18
			災害時の迂回路の整備	P19
			狭あい道路の整備・改良の推進と交通安全対策の実施	P20
	安心なまちづくり	防災意識づくりの推進	土木・建設業者等事業者に対する安全確保やコンプライアンス意識の啓発を目的とした広報誌の充実	P21
			土木・建設業者等事業者に対する安全確保やコンプライアンス意識の啓発を目的とした申請者に対する窓口指導	P22
			「わたしの避難計画」の作成・普及事業の推進	P23
		地域防災機能の充実	消防団第4分団詰所の整備	P24
			消防団第4分団消防ポンプ自動車の更新配備	P25
			消火栓の整備	P26
			自主防災会活動の支援・充実	P27
		危機管理体制の強化	熱海市地域防災計画の見直し	P28
			SNS等を活用した災害情報の提供に関する判断基準及び伝達体制の整備	P29
速やかな生活再建	住まいへの支援	応急仮設住宅等の弾力的な運用	復旧・復興の進捗や被災者の状況に合わせた運用	P30
			生活再建に向けた相談体制の充実	P31
		警戒区域に係る被災者向け宅地・住宅への支援	被災宅地復旧事業補助金の活用による宅地整備の推進	P32
			民間住宅や公営住宅を活用した帰還支援	P33
		住宅の自力再建に対	宅地再建者への支援の実施	P34

	生活への支援	する支援	ライフライン整備の完了	P35
		被災者の生活設計に向けた時間提示	基盤整備事業についての工程表の公表	P36
			ライフライン復旧についての工程表の公表	P37
		見守りによる生活支援	見守り相談、関係機関へのつなぎの支援	P38
			高齢者、障がいのある方等の健康維持に関する支援	P39
			交流の場づくりの推進	P40
		被災事業者に対する支援	熱海市被災中小企業復旧支援事業費補助金	P41
			熱海市チャレンジ応援センター（A-suppo）での経営相談	P42
		地域交通の確保	公共交通に関する調査	P43
			公共交通の総合的な見直し	P44
			既存の路線バスの運行継続	P45
		安心できる子育て環境の整備	子どものいる世帯における心のケア及び支援	P46
			安全な通学路の整備・維持管理	P47
			地域で行う子どもの見守り活動等に対する支援	P48
		地域コミュニティの再生支援	町内会等への地域コミュニティ活性化の支援	P49
			公園緑地等の公共空間の整備	P50~51
創造的復興	地区内の環境向上に資する創造的取組	歴史を継承する地域文化の再生・形成	伊豆山地域の歴史文化に関わる講演会等	P52
		景観に配慮した地区まちづくり整備	公共施設を建設する際、関係部署へ景観施策の周知	P53
			公共施設を建設する際の協議、調整を行う仕組み作り	P54
	地区外から人を呼び込む創造的取組	地域資源の活用	伊豆山温泉資源保護整備への補助と誘客PRの実施	P55
			伊豆山地区の観光資源の継続的なPR	P56
		伊豆山地区の活性化と多様な人材との協働	公有地（猪洞市営住宅跡地）の有効活用に向けた整備	P57
			避難者と地域がつながる場の提供	P58
			町内会（地域）と多様な人材との協働事業の支援	P59

3.3 安全・安心の確保に関する取組

(1)安全なまちづくりに関する取組

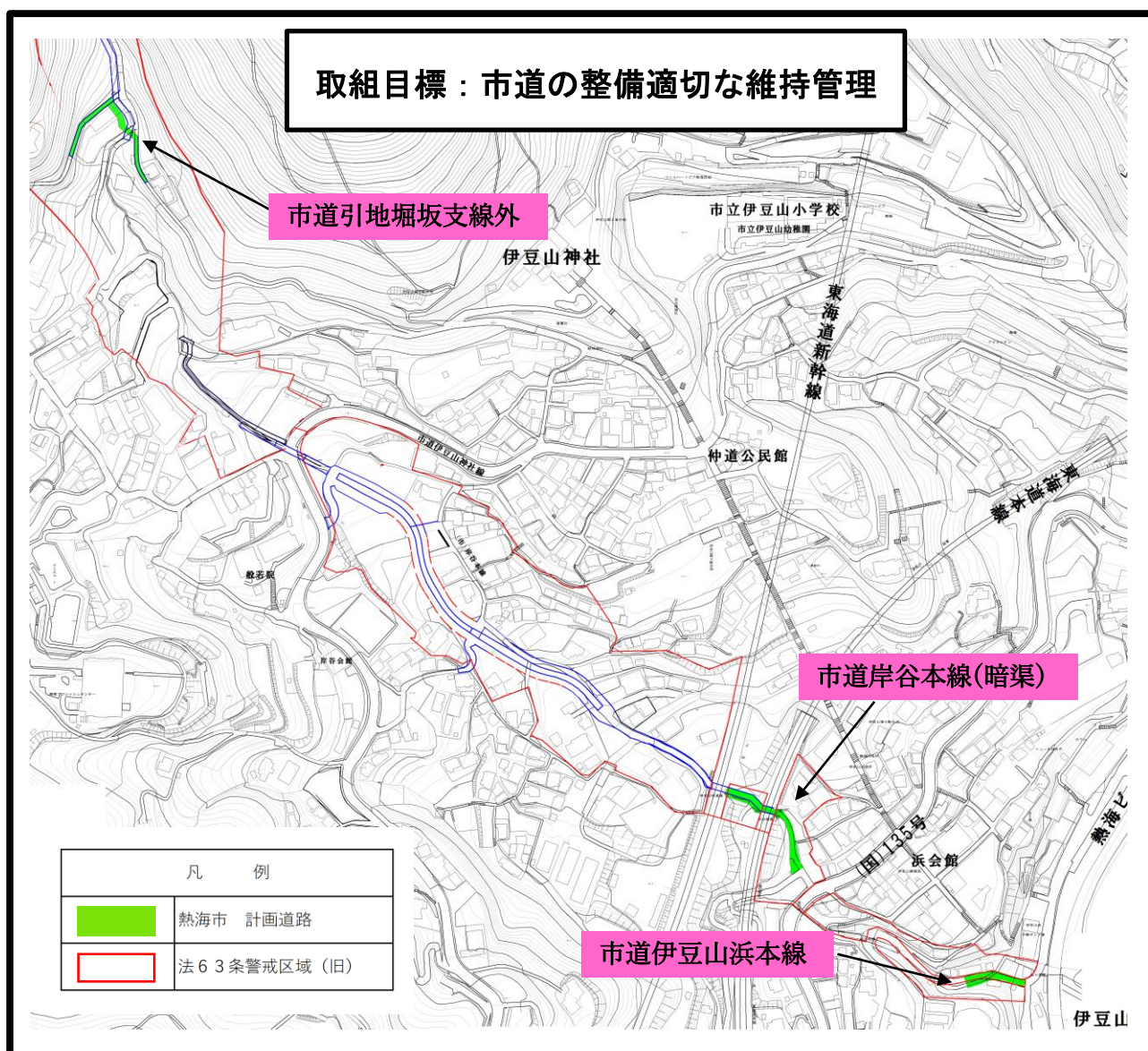
1-1 逢初川流域を一体とした流域管理への取組																																																		
取組目標	宅地造成及び特定盛土等規制法施行にかかる対応と宅地関係にかかる法令の整理																																																	
実施内容	法令改正に合わせ、県による基礎調査を通じて市街地のみならず人家等に影響の与える広い地域において災害発生の抑止を行っていく。他方では、法令の整理と併せ、衛星画像を活用し、違法な開発行為の監視等も行っていく。																																																	
完了目標年度	令和 13 年度																																																	
実施スケジュール	<table><tr><td colspan="3">短期</td><td colspan="2">中期</td><td colspan="5">長期</td></tr><tr><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td><td>R13</td></tr><tr><td colspan="10">宅地造成法令整理及び的確な指導体制（県市）</td></tr><tr><td colspan="5">新盛土法にかかる情報収集</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	宅地造成法令整理及び的確な指導体制（県市）										新盛土法にかかる情報収集									
	短期			中期		長期																																												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
	宅地造成法令整理及び的確な指導体制（県市）																																																	
	新盛土法にかかる情報収集																																																	
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																										
	短期	情報収集・法令整理及び指導体制(衛星監視含む)				達成		21.1 百万																																										
	R7	県との事務分担整理				達成		10.5 百万																																										
	R8	新法令による指導				—		12.0 百万																																										
	長期	新法令による指導				—		60.0 百万																																										
総事業費	103.6 百万円(継続的な経費)																																																	
目標値 ※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	実績値(昨年度/ 累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																										
	10%/60%	0%		50%		70%		100%																																										
実施イメージ	静岡県と協力をしながら新法令体制下の指導を実施																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点	R5年度より衛星監視を実施しており、新法施行にかかる、県との事務分担整理を実施した。																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き衛星監視を継続し、県と協力しながら、新法令による指導を行っていく。																																																	
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課(静岡県)																																																	
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																		
復興まちづくり計画との対応	第 3 章 3 逢初川流域管理保全方針(3)																																																	
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●宅地造成及び特定盛土等規制法を盛土等規制の中核として、静岡県と熱海市で連携を強化し、逢初川流域での盛土等を適切に規制していきます。																																																	

2ー1 地域の状況に応じた安全確保対策の推進										
取組目標	砂防堰堤の適切な維持管理									
実施内容	令和 3 年 7 月の土石流による堆積土砂約 7,300m3 の除去と堰堤工 1 基を施工した。									
完了目標年度	令和 4 年度									
実施 スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	砂防堰堤新設									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	土砂撤去・堰堤工				達成		国直轄事業		
	R7	—				—		—		
	R8	—				—		—		
	長期	—				—		—		
総事業費	国直轄事業で実施									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	1施設	1 施設		—		—		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	—									
今後の展望 ※令和8年度以降	—									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課（静岡県）(国土交通省)									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災方針(1)									
内容 ※復興まちづくり計画 作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○国が実施した砂防堰堤事業、県が実施している逢初川の河川改修事業が進められており、安全性の向上が図られます。									

2—2 地域の状況に応じた安全確保対策の推進										
取組目標	逢初川の河川改修									
実施内容	国道 135 号から伊豆山神社線までの区間の河川改修を行う。測量設計から住民説明、用地買収を行い、逢初川河川整備計画に基づき、年超過確率1/30の降雨による出水に対応した河川改修を行う。									
完了目標年度	令和8年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	河川改修									
	年度		取組みの具体内容			達成状況		事業費		
	短期		設計・用地買収・工事			未達成		928 百万円		
	R7		用地買収・工事			未達成		490 百万円		
	R8		用地買収・工事			—		390 百万円		
長期		—			—		—			
総事業費	未確定(設計中のため)									
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	147m/208m		0m		61m		596m		—	
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	開渠区間L=134mと暗渠区間L=74mの整備が完了しました。									
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度までに中期目標であるL=596mを整備するため、工事及び用地買収を進めます。									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課（静岡県）									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(1)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○国が実施した砂防堰堤事業、県が実施している逢初川の河川改修事業が進められており、安全性の向上が図られます。									

3—1 命を守る生活道路の整備																																																																						
取組目標	市道岸谷本線外道路・取付道路の整備																																																																					
実施内容	生活道路の整備は日常生活における利便性の向上に加え、発災時の避難路としての安全性確保の役割を担っていることから、市道岸谷本線外道路や取付道路に関係する方の地元合意を得ながら実施することとし、地権者への用地交渉、測量設計を綿密かつ迅速に行い、工事施工を推進する。																																																																					
完了目標年度	令和 13 年度																																																																					
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="3">調査・設計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">用地買収・設計</td><td colspan="2"></td><td colspan="5">用地買収・工事</td></tr><tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">用地買収・工事</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="10"></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	調査・設計										用地買収・設計					用地買収・工事								用地買収・工事																
	短期			中期		長期																																																																
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																																												
	調査・設計																																																																					
	用地買収・設計					用地買収・工事																																																																
				用地買収・工事																																																																		
年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																																															
短期	調査・設計・用地買収・工事				達成(調査・設計) 未達成(用地買収・工事)		180.2百万円																																																															
R7	用地買収・工事				未達成(用地買収・工事)		64.7百万円																																																															
R8	用地買収・工事				—		38.8百万円																																																															
長期	用地買収・工事				—		138.1百万円																																																															
総事業費	421.8 百万円(予定)																																																																					
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																																													
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	37m/67m		0m		161m		227m		366m																																																													
実施イメージ	別紙のとおり																																																																					
これまでの総括 ※令和7年度時点	調査設計業務に関しては完了している。用地買収については、全体の8割買収が完了している。工事については、全体の2割が完了している。																																																																					
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度末暫定的な道路の供用開始にむけて工事を行う。今後は、当初計画の道路完成に向けて用地買収・道路工事を継続して行う。																																																																					
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課																																																																					
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																																						
復興まちづくり計画との対応	第4章 2 道路・交通の方針(1)																																																																					
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○地区内を縦断する骨格となる道路を逢初川沿いに整備します。逢初川を開水路で改修する区間は、時計回りの一方通行とします。																																																																					

3—2 命を守る生活道路の整備										
取組目標	市道の整備、適切な維持管理									
実施内容	生活道路の整備は日常生活における利便性の向上に加え、発災時の避難路としての安全性確保の役割を担っていることから、市道部分の危険箇所の修繕や補強を行い、計画区域内の適切な施設の維持管理を行う。									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	必要個所の整備・維持修繕による機能強化									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	引地堀坂支線測量・設計				達成		8 百万円		
	R7	引地堀坂支線拡幅工事 岸谷本線(暗渠部)用地買収				達成		34 百万円		
	R8	引地堀坂支線拡幅工事 岸谷本線(暗渠部)工事				—		78 百万円		
長期	伊豆山浜本線拡幅工事				—		10 百万円			
総事業費	130 百万円(予定)									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	0%/0%	0%		50%		70%		100%		
実施イメージ	次頁参照									
これまでの総括 ※令和7年度時点	引地堀坂支線拡幅工事に着手。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引地堀坂支線拡幅工事、岸谷本線(暗渠部)工事については、令和 8 年度中に終わらせ、伊豆山浜本線については令和 10 年度着工を見込んでいる。									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第 4 章 2道路交通の方針(1) 3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○市道岸谷本線等の既存市道の拡幅整備を検討し、将来の住宅建替上の問題の解消、居住環境の向上、緊急車両の進入や地震・火災・水害等からの防災性の強化につなげていきます。									



4—1 避難所・避難路の整備										
取組目標	伊豆山小学校の指定避難所機能の向上、地域の公民館等の一時避難場所の活用検討									
実施内容	指定避難所機能の向上については、学校施設であることから、今後、教育委員会と調整。一時避難場所における資機材については、保管場所等との兼ね合いにより、地元の意見を聞きながら配備検討。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	避難所・避難路の計画的整備の実施									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	備蓄資機材の計画的整備				継続		—		
	R7	備蓄資機材の計画的整備				継続		—		
	R8	備蓄資機材の計画的整備				—		—		
長期	備蓄資機材の計画的整備				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	備蓄資機材の 整備実施	備蓄資機材の 整備実施		備蓄資機材の 計画的整備		備蓄資機材の 計画的整備		備蓄資機材の 計画的整備		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	指定避難所である伊豆山小学校の設備を一部改修するとともに、一時避難所としての機能を有する伊豆山コミュニティ防災センター内に防災倉庫を設置した。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き、指定避難所の機能向上を目指していくとともに、一時避難所の活用方法について検討していく。									
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(4),(5)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●公民館や公園、保養所などの民間施設を一時避難場所として活用できるよう検討していきます。 ○避難所に指定されている伊豆山小学校について、高齢者や乳児を含む子ども連れのファミリー層をはじめとした災害弱者や女性にも配慮した、トイレ、スロープ、空調、更衣室などの施設整備や避難所運営、さらに防災備蓄品の充実についても検討します。									

4ー2 避難所・避難路の整備										
取組目標	災害ボランティアセンター活動拠点、資機材の整備									
実施内容	ボランティアが利用する駐車場やボランティア活動に使用する資機材の倉庫の設置場所などについて検討。									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	避難所・避難路の計画的整備の実施									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	災害時、活動拠点を総合福祉センター内に確保することを社会福祉協議会と調整				達成		—		
	R7	社協において資機材・倉庫を整備				達成		—		
R8	駐車場の検討				—		—			
長期	—				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	活動拠点の確保、資機材・倉庫の整備	災害ボランティアセンターを設置		駐車場の検討、資機材・倉庫の整備		駐車場の検討		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	災害時、活動拠点を総合福祉センター内に確保することを社会福祉協議会と調整し、資機材と倉庫を同センター内 1 階に確保した。									
今後の展望 ※令和8年度以降	駐車場の確保については、災害ボランティアセンターが立ち上がった時点で決定する。									
担当課	熱海市 健康福祉部 社会福祉課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応										
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項										

4—3 避難所・避難路の整備																																								
取組目標	災害時の迂回路の整備																																							
実施内容	避難経路の整備については、既存の道路を活用し、整備可能な施工方法等を検討。																																							
完了目標年度	令和13年度																																							
実施スケジュール	<table><tr><td colspan="3">短期</td><td colspan="2">中期</td><td colspan="5">長期</td></tr><tr><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td><td>R13</td></tr><tr><td colspan="10">避難所・避難路の計画的整備の実施</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	避難所・避難路の計画的整備の実施									
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	避難所・避難路の計画的整備の実施																																							
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	避難路アンケート実施				達成		—																																
	R7	整備内容の検討・施工				継続		—																																
R8	整備内容の検討・施工				—		—																																	
長期	整備内容の検討・施工				—		未定																																	
総事業費	未定																																							
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	30%/60%	0%		30%		60%		100%																																
実施イメージ	—																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	地域のニーズの把握に努め、2方向避難経路の整備を実施した。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	現地確認により、必要な整備内容について、検討していく。																																							
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(6)																																							
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○地形の制約がある中での可能な範囲において、行き止まり道路を他の路線とつなげる歩道の設置や民家の庭先の通行の確保などにより、2方向避難経路の整備を進め、地区外に速やかに避難できるルートを確保していきます。																																							

4—4 避難所・避難路の整備										
取組目標	狭あい道路の整備・改良の推進と交通安全対策の実施									
実施内容	避難路として重要な役割を担う市道伊豆山浜本線について、津波避難路整備工事着手し、早期竣工を目指す。併せて、狭あい道路を整備し、平時・発災時の安全性を確保する。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	 市道浜本線津波避難経路整備工事									
	 市道岸谷本線拡幅工事									
	 市道岸谷3号線拡幅工事									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	伊豆山浜本線避難路整備工事 岸谷本線拡幅工事				達成		16百万円		
R7	岸谷3号線拡幅工事				達成		7百万円			
R8	—				—		—			
長期	工事・維持管理				—		—			
総事業費	未定									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	7百万円/ 23百万円	—		—		—		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	伊豆山地区の狭あい道路拡幅は、建物が道路沿いに競っている箇所が多いため、建て替え等のタイミングで拡幅工事を行っている状況。									
今後の展望 ※令和8年度以降	今後においても必要箇所の拡幅を進める。									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4防災の方針(6)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○避難の安全性を高めるため、緊急避難場所に通じる狭あい道路の拡幅・改修を進めます。									

(2)安心なまちづくりに関する取組

1-1 防災意識づくりの推進

取組目標	土木・建設業者等事業者に対する安全確保やコンプライアンス意識の啓発を目的とした広報誌の充実																																																	
実施内容	開発に伴う規制があることを市の共通認識として市民全体にも周知し、新たな災害を防ぐために草の根レベルで啓発を行っていく。																																																	
完了目標年度	令和13年度																																																	
実施スケジュール	<table><tr><td colspan="3">短期</td><td colspan="2">中期</td><td colspan="5">長期</td></tr><tr><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td><td>R13</td></tr><tr><td colspan="10">窓口での指導</td></tr><tr><td colspan="10">広報誌での周知（HP、SNS活用）</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	窓口での指導										広報誌での周知（HP、SNS活用）									
	短期			中期		長期																																												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
	窓口での指導																																																	
	広報誌での周知（HP、SNS活用）																																																	
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																										
	短期	窓口に加え広報誌活用				達成		—																																										
	R7	窓口に加え広報誌活用				達成		—																																										
	R8	窓口に加え広報誌活用				—		—																																										
	長期	窓口に加え広報誌活用				—		—																																										
総事業費	—																																																	
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)	短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																											
	年1回 特集の維持	0回	年1回 特集の維持		隔年1回 特集の維持		隔年1回 特集の維持																																											
実施イメージ	窓口で行っている事業者への規制にかかる説明を継続し、広報誌、HP 及び FM 放送による周知も行っていくことで、市全体として開発に対する防災措置の重要性を啓発していく。これにより、「地域の目」による抑止力向上も目指したい。																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点	窓口での説明に加え、広報誌等の活用した周知啓発を行った。																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き開発に対する防災措置の重要性を啓発していく。																																																	
担当課	熱海市 観光建設部まちづくり課																																																	
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																		
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(7)																																																	
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●各人・各団体の役割や取組により、安全・安心な地域づくりを推進します。																																																	

1ー2 防災意識づくりの推進										
取組目標	土木・建設業者等事業者に対する安全確保やコンプライアンス意識の啓発を目的とした申請者に対する窓口指導									
実施内容	近年の民間投資の活発化を受けて、当該地域周辺における開発も想定されるところである。これを受けて、開発会社も様々な事業者が参入されることが見込まれることから、施主、設計者、施工者を一体的に指導できるような説明を行っていく。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	窓口での指導									
	広報誌での周知（HP、SNS活用）									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	窓口における周知				達成		—		
	R7	窓口における周知				達成		—		
R8	窓口における周知				—		—			
長期	窓口における周知				—		—			
総事業費	—									
目標値 ※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	指導の実施	指導の実施		指導の実施		継続実施		継続実施		
実施イメージ	目標値には記載できない開発以前の相談案件についての対応が近年増えてきているが、限りある人的資源を有効に活用するために、既存のチラシを活用する等し、必要な指導が行き届くように指導を行っていく。									
これまでの総括 ※令和7年度時点	事業者に対し、適切に指導を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き、安全確保やコンプライアンス意識の醸成を図るため、適切な指導を行っていく。									
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(7)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●各人・各団体の役割や取組により、安全・安心な地域づくりを推進します。									

1-3 防災意識づくりの推進										
取組目標	「わたしの避難計画」の作成・普及事業の推進									
実施内容	「わたしの避難計画」の全戸配布完了。今後は、訓練等において作成説明、住民のライフスタイルに変化があった際に避難計画を見直すことができるよう継続的に周知、普及を展開。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	「自助」「共助」による警戒避難体制の意識向上の取り組み									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	「わたしの避難計画」全戸配布				達成		—		
	R7	作成説明、避難計画の更新（見直し）周知				達成		—		
R8	作成説明、避難計画の更新（見直し）周知				—		—			
長期	作成説明、避難計画の更新（見直し）周知				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 （昨年度/累積）	当初値 （R4）		短期目標値 （R6）		中期目標値 （R8）		長期目標値 （R13）		
※実績値欄 昨年度：令和7年度 累積：令和4年度～昨年度	・全戸配布 ・作成説明 ・避難計画の更新（見直し）周知	・「わたしの避難計画」全戸配布		・作成説明 ・避難計画の更新（見直し）周知		—		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	「わたしの避難計画」全戸配布、作成説明、避難計画の更新（見直し）について周知した。具体的には、広報あたまに掲載するとともに、防災訓練に「わたしの避難計画作成」をメニューとして取り入れ実施した。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き、「わたしの避難計画作成」を防災訓練のメニューとして取り入れていく。また、防災講座等においても、積極的に周知していく。									
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(7)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○：ハード整備に関連が深い事項 ●：ソフト整備に関連が深い事項	●静岡県で推進している「わたしの避難計画」の作成・普及活動を行い、防災意識の向上に努めます。 ●世帯状況に変化があった際に、避難計画の見直しが図られるよう、防災訓練や防災出前講座などを機に周知を行う。									

2—1 地域防災機能の充実										
取組目標	消防団第4分団詰所の整備									
実施内容	消防防災拠点となる消防団詰所の整備につきましては、地域住民との合意形成を図りながら実施することとし、再建候補地の地権者への用地交渉、測量設計を緊密かつ迅速に行い、工事施工を推進していく。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	整備事業の推進			工事	維持管理による機能強化					
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	解体、用地買収、設計				達成 (解体、用地買収、設計)		58.2百万円		
	R7	建設工事				達成		197.945百万円		
R8	維持管理				—		—			
長期	維持管理				—		—			
総事業費	256.145百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	60%/100%	20%		40%		100%		—		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度										
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	計画通り、旧詰所の解体、用地買収、ボーリング等調査、設計、建設工事を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	今後は適切に管理、運用していく。									
担当課	熱海市 消防本部 消防総務課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点	○被災した消防団第四分団詰所を市道伊豆山神社線沿道などに早急に新設するとともに、消防ポンプ自動車など必要な装備の充実を図り、地域防災力・消防力の強化を図ります。									
○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項										

2ー2 地域防災機能の充実

取組目標	消防団第4分団消防ポンプ自動車の更新配備									
実施内容	令和5年3月に更新配備が完了し、仮詰所の「伊豆山地区コミュニティ防災センター」に配備していますが、引き続き、車両や資機材の点検整備を実施し、適切な維持管理に努める。									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	整備、維持管理による機能強化									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	R4 年度更新配備 維持管理				達成(更新配備) 達成(維持管理)		20百万円		
	R7	維持管理				達成(維持管理)		—		
	R8	維持管理				—		—		
長期	維持管理				—		—			
総事業費	20 百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	100%	100%		100%		—		—		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度										
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	計画通り、車両の更新配備、管理、運用を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	今後は引き続き、適切に管理、運用していく。									
担当課	熱海市 消防本部 消防総務課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○被災した消防団第四分団詰所を市道伊豆山神社線沿道などに早急に新設するとともに、消防ポンプ自動車など必要な装備の充実を図り、地域防災力・消防力の強化を図ります。									

2ー3 地域防災機能の充実

取組目標	消火栓の整備																																																	
実施内容	市道やライフラインの復旧、被災地域の復興状況等を考慮しながら適切な箇所に消火栓を設置し、維持管理に努める。																																																	
完了目標年度	令和 13 年度																																																	
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="3">➡ 整備事業の推進</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="9">➡ 整備、維持管理による機能強化</td><td></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	➡ 整備事業の推進										➡ 整備、維持管理による機能強化									
	短期			中期		長期																																												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
	➡ 整備事業の推進																																																	
	➡ 整備、維持管理による機能強化																																																	
	年度	取組みの具体内容				達成状況			事業費																																									
	短期	消防水利状況把握・設置				達成(消防水利状況把握) 達成(6箇所設置)			4. 5百万円																																									
	R7	消防水利状況把握・設置				達成(消防水利状況把握) 達成(1箇所設置)			2. 2百万円																																									
	R8	消防水利状況把握・設置				—			—																																									
	長期	維持管理				—			—																																									
総事業費	6. 7百万円																																																	
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																										
※実績値欄 昨年度: 令和7年度 累積: 令和 4 年度～昨年度	20%/60%	0%		40%		70%		100%																																										
実施イメージ	—																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点	計画通り、消火栓の設置、管理を行った。																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降	今後も引き続き、消火栓の設置、管理を行っていく。																																																	
担当課	熱海市 消防本部 消防総務課																																																	
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																		
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(2)																																																	
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○必要に応じて消火栓の設置を見直す等防災性の強化を進めます。																																																	

2－4 地域防災機能の充実											
取組目標	自主防災会活動の支援・充実										
実施内容	自主防災会による「自助」「共助」の取り組みを推進し、防災資機材等の整備補助や出前講座や講演会等を通じた防災普及事業を実施										
完了目標年度	令和 13 年度										
実施スケジュール	短期			中期		長期					
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
	整備事業の推進・維持管理の機能強化										
	年度		取組みの具体内容			達成状況		事業費			
	短期		自主防災会防災資機材購入整備費 補助・防災出前講座等の実施			達成		36百万円			
	R7		自主防災会防災資機材購入整備費 補助・防災出前講座等の実施			達成		12百万円			
	R8		自主防災会防災資機材購入整備費 補助・防災出前講座等の実施			—		13百万円			
	長期		自主防災会防災資機材購入整備費 補助・防災出前講座等の実施			—		—			
	総事業費		61百万円								
	目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	5%/75%		60%		70%		80%		100%		
実施イメージ	—										
これまでの総括 ※令和7年度時点	自主防災会防災資機材等購入整備費補助金の利用を促し、防災資機材の整備につなげた。また、地域及び学校等に出向き、防災出前講座等を実施した。										
今後の展望 ※令和8年度以降	自主防災会防災資機材等購入整備費補助金の利用を促し、防災資機材の整備につなげるとともに、引き続き防災出前講座等を積極的に実施していく。										
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課										
【参考】復興まちづくり計画との関係性											
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(7)										
事業実施の課題 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●各人・各団体の役割や取組により、安全・安心な地域づくりを推進します。										

3ー1 危機管理体制の強化										
取組目標	熱海市地域防災計画の見直し									
実施内容	国・県の計画の改定に沿った計画の見直しを実施									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	「熱海市地域防災計画」の改定・災害時の情報伝達体制の強化									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	地域防災計画の見直し				達成		—		
	R7	地域防災計画の見直し				達成		—		
	R8	地域防災計画の見直し				—		—		
長期	地域防災計画の見直し				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	改定済		改定済		改定済		毎年度 見直し		毎年度 見直し	
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	地域防災計画の見直し									
今後の展望 ※令和8年度以降	地域防災計画の見直し									
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項										

3—2 危機管理体制の強化

取組目標	SNS 等を活用した災害情報の提供に関する判断基準及び伝達体制の整備																																							
実施内容	災害情報等の伝達に SNS を活用する際に注意すべきこととして、デマ情報の見極めと危険な場所からの投稿を行わない等、住民に対する危険回避の対策と、従来の情報発信手段に加えて、最新の情報発信手段を積極的に活用し、災害情報の伝達をより効果的に実施。																																							
完了目標年度	令和 13 年度																																							
実施スケジュール	<table><tr><td colspan="3">短期</td><td colspan="2">中期</td><td colspan="5">長期</td></tr><tr><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td><td>R13</td></tr><tr><td colspan="10">「熱海市地域防災計画」の改定・災害時の情報伝達体制の強化</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	「熱海市地域防災計画」の改定・災害時の情報伝達体制の強化									
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	「熱海市地域防災計画」の改定・災害時の情報伝達体制の強化																																							
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	情報発信手段の多様化				継続		—																																
	R7	情報発信手段の多様化				継続		—																																
R8	情報発信手段の多様化				—		—																																	
長期	情報発信手段の多様化				—		—																																	
総事業費	—																																							
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	100%	100%		100%		—		—																																
実施イメージ	—																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	メールマガジン、SNS 等の登録者数を増加させることにより、災害情報の伝達をより効果的に実施した。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き、メールマガジン、SNS 等の登録者数を増加させるための広報を実施していく。																																							
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(7)																																							
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●様々な媒体を活用した防災情報の発信など、危機管理体制の強化につながる具体の取組を検討します。																																							

3.4 速やかな生活再建に関する取組

(1) 住まいへの支援に関する取組

1ー1 応急仮設住宅等の弾力的な運用										
取組目標	復旧・復興の進捗や被災者の状況に合わせた運用									
実施内容	被災者の生活再建にあたっては、各世帯が異なる状況の中で、現地の復旧・復興事業等の進捗や住家の再建方法(建設・購入・補修・賃貸等)によって必要となる住居支援の期間が異なることから、被災世帯の状況に合わせた住居支援を行う。									
完了目標年度	令和 8 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	応急的な住まいへの支援									
	年度		取組みの具体内容			達成状況		事業費		
	短期		住居支援の実施			達成		37.6百万円		
	R7		住居支援の実施			達成		8.6 百万円		
R8		住宅支援の実施			—		6.2 百万円(予算)			
長期		完了			—		—			
総事業費	52.4百万円(R8年度までの支出予定額)									
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
	住居支援の実 施		住居支援の実 施※静岡県		継続		生活再建状況 により継続		完了	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度										
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	令和4年度に静岡県が実施した応急仮設住宅の供与事業を引き継ぐ形で令和5年度より事業を開始し、これまで延べ64世帯に対し支援を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年4月現在、対象は9世帯となっているが、各世帯の生活再建が成るまで支援を継続していく。									
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第5章 2 生活再建等の支援									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●応急仮設住宅等の住居支援や、引っ越しにかかる費用及び旧警戒区域内の自宅を補修し帰還する世帯への上乗せの支援、被災した宅地整備の支援を行います。 ●自宅の新築・購入などのため、融資を受けた際の利子助成や旧警戒区域内の自己所有の家屋を自己負担により解体・撤去する場合、その費用の一部を助成します。									

1—2 応急仮設住宅等の弾力的な運用																																																												
取組目標	生活再建に向けた相談体制の充実																																																											
実施内容	生活再建に向けた相談は、各世帯の状況などによって異なり、内容も多岐に渡るため、被災者支援室(ささえ逢いセンター)による生活再建支援のほか、復興調整室と連携し、被災者の抱える問題やニーズに対応できるよう相談体制の継続を図る。 ・被災者支援室(ささえ逢いセンター)…生活再建支援のほか、困りごと等に関する相談 ・復興調整室…公共工事、ライフライン等のハード面に関する相談 また、旧警戒区域内への帰還を希望する世帯に対しては、帰還する際に必要な情報が適切に得られるよう、関係部署と連携し、積極的な情報発信や帰還に向けた具体的な手続き等について支援を行う。																																																											
完了目標年度	令和 8 年度																																																											
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="5">生活再建に向けた相談体制</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><th>年度</th><th>取組みの具体内容</th><th>達成状況</th><th>事業費</th></tr><tr><td>短期</td><td>相談業務の実施</td><td>達成</td><td>18.4百万円</td></tr><tr><td>R7</td><td>相談業務の実施</td><td>達成</td><td>3.0 百万円</td></tr><tr><td>R8</td><td>相談業務の実施</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>長期</td><td>完了</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	生活再建に向けた相談体制										年度	取組みの具体内容	達成状況	事業費	短期	相談業務の実施	達成	18.4百万円	R7	相談業務の実施	達成	3.0 百万円	R8	相談業務の実施	—	—	長期	完了	—	—
短期			中期		長期																																																							
R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																																			
生活再建に向けた相談体制																																																												
年度	取組みの具体内容	達成状況	事業費																																																									
短期	相談業務の実施	達成	18.4百万円																																																									
R7	相談業務の実施	達成	3.0 百万円																																																									
R8	相談業務の実施	—	—																																																									
長期	完了	—	—																																																									
総事業費	21.4 百万円(予定)※他のささえ逢いセンター事業含む																																																											
目標値 ※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)	短期目標値 (R6)	中期目標値 (R8)	長期目標値 (R13)																																																							
	相談の実施 (見守り・困りごと相談)	相談の実施 (見守り・困りごと相談)	継続	生活再建状況により継続	—																																																							
実施イメージ	—																																																											
これまでの総括 ※令和7年度時点	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、見守り・相談支援のほか、地域交流拠点(いずさんっち)においてイベント等を開催し、地域との交流機会の創出を図った。																																																											
今後の展望 ※令和8年度以降	ささえ逢いセンターの機能を被災者支援室と統合し、支援継続中の世帯を中心に生活再建に向けた支援を行っていく。																																																											
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課																																																											
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																												
復興まちづくり計画との対応	第 4 章 7 生活環境に関する方針(3)																																																											
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●個々の被災者が抱える問題やニーズへの対応を図るための相談体制を継続します。																																																											

2-1 警戒区域に係る被災者向け宅地・住宅への支援																																																		
取組目標	被災宅地復旧事業補助金の活用による宅地整備の推進																																																	
実施内容	被災者の生活再建に向け、被災宅地復旧補助金を活用してもらい、宅地整備を推進する。																																																	
完了目標年度	令和9年度																																																	
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="5">事業検討、手続き</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">補助金の活用による宅地整備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	事業検討、手続き										補助金の活用による宅地整備									
	短期			中期		長期																																												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
	事業検討、手続き																																																	
	補助金の活用による宅地整備																																																	
	年度	取組みの具体内容				達成状況			事業費																																									
	短期	事業の見直し・検討 被災宅地復旧補助金の策 定・活用促進				達成 継続			8件 11.210 百万円																																									
R7	被災宅地復旧補助金の活 用促進				継続			2件 12.133 百万円																																										
R8	被災宅地復旧補助金の活 用促進				—			10 件 100.0 百万円																																										
長期	被災宅地復旧補助金の活 用促進				—			11 件 110.0百万円																																										
総事業費	233.343百万円																																																	
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																										
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	6.5%/32.3%	0%		50%		64.5%		100%																																										
実施イメージ	—																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点	隣接する道路工事の期間延長に伴い、令和6年度に申請期限を延長した。 道路工事の完成の遅れから、利用件数が目標値に達成しない状況。																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度末まで道路工事を行うことから、申請期限を令和8年度から令和9 年度へ再度延長し、活用を促進する。																																																	
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課																																																	
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																		
復興まちづくり計画と の対応	第4章 1 土地利用の方針(1) 第5章 1 まちづくりの推進(1)																																																	
内容 ※復興まちづくり計画 作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○被災者の住宅再建意向を踏まえつつ、被災宅地復旧事業補助金の活用により 宅地整備を推進していきます。 ○被災者の現地再建意向を勘案しつつ、被災宅地復旧事業補助金の活用により 宅地整備を推進することで、被災者の早期生活再建につなげていきます。																																																	

2—2 警戒区域に係る被災者向け宅地・住宅への支援																																																		
取組目標	民間住宅や公営住宅を活用した帰還支援																																																	
実施内容	被災者への意向確認を行い、被災者の意向に合わせた住宅情報の提供を行う。																																																	
完了目標年度	令和 8 年度																																																	
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="3">意向調査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">意向に合わせた帰還支援</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	意向調査										意向に合わせた帰還支援									
	短期			中期		長期																																												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
	意向調査																																																	
	意向に合わせた帰還支援																																																	
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																										
	短期	意向調査 / 帰還支援				達成 / 継続		—																																										
R7	帰還支援				継続		—																																											
R8	帰還支援				—		—																																											
長期	—				—		—																																											
総事業費	—																																																	
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																										
	帰還支援	意向調査		帰還支援		帰還支援		—																																										
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度																																																		
実施イメージ	—																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点	被災者へ応急的な住まいとして、目的外使用を活用した公営住宅の提供を行った。[合計 13 世帯]																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降	被災者の帰還について、関係機関との協調支援を継続する。																																																	
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課																																																	
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																		
復興まちづくり計画との対応	第5章 1 まちづくり事情の推進(1)																																																	
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○被災者の住まい方のニーズを踏まえて、民間住宅や公営住宅を活用した帰還の支援を検討します。																																																	

3—1 住宅の自力再建に対する支援																																																		
取組目標	宅地再建者への支援の実施																																																	
実施内容	被災者の生活再建に向け、被災宅地復旧補助金を活用してもらい、宅地整備を推進する。																																																	
完了目標年度	令和9年度																																																	
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="5">事業検討、手続き</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">補助金の活用による宅地整備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	事業検討、手続き										補助金の活用による宅地整備									
	短期			中期		長期																																												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																								
	事業検討、手続き																																																	
	補助金の活用による宅地整備																																																	
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																										
	短期	事業の見直し・検討 被災宅地復旧補助金の策 定・活用促進				達成 継続		8件 11.210 百万円																																										
R7	被災宅地復旧補助金の活 用促進				継続		2件 12.133 百万円																																											
R8	被災宅地復旧補助金の活 用促進				—		10 件 100.0 百万円																																											
長期	被災宅地復旧補助金の活 用促進				—		11 件 110.0百万円																																											
総事業費	233.343百万円																																																	
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																										
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	6.5%/32.3%	0%		50%		64.5%		100%																																										
実施イメージ	—																																																	
これまでの総括 ※令和7年度時点	隣接する道路工事の期間延長に伴い、令和6年度に申請期限を延長した。 道路工事の完成の遅れから、利用件数が目標値に達成しない状況。																																																	
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度末まで道路工事を行うことから、申請期限を令和8年度から令和9 年度へ再度延長し、活用を促進する。																																																	
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課																																																	
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																		
復興まちづくり計画と の対応	第4章 1 土地利用の方針(1) 第5章 1 まちづくりの推進(1)																																																	
内容 ※復興まちづくり計画 作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○被災者の住宅再建意向を踏まえつつ、被災宅地復旧事業補助金の活用により 宅地整備を推進していきます。 ○被災者の現地再建意向を勘案しつつ、被災宅地復旧事業補助金の活用により 宅地整備を推進することで、被災者の早期生活再建につなげていきます。																																																	

3—2 住宅の自力再建に対する支援										
取組目標	ライフライン整備の完了									
実施内容	ライフライン復旧について、各ライフライン事業者と調整し、復旧可能エリアの選定・拡充及び工程の調整を行う。									
完了目標年度	令和 8 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	各ライフライン業者との調整									
	復旧エリアの選定・拡充									
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	各ライフライン業者との調整 復旧エリアの選定・拡充		各ライフライン業者との調整 復旧エリアの選定・拡充		各ライフライン業者との調整 復旧エリアの選定・拡充		各ライフライン業者との調整 復旧エリアの選定・拡充		—	
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	現地で生活再建された方々のライフラインは復旧済み。 道路事業が暫定整備となったことで、当初計画とは違うライフライン整備となる。									
今後の展望 ※令和8年度以降	令和 8 年度末の暫定整備完了に向け、現地で生活再建を望んでいる方々が生活できるよう、ライフライン整備を行う。									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第 4 章 7 生活環境に関する方針(2)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○上下水道、電気、ガスなどの供給処理施設は、地区内の宅地や道路等の整備に合わせて再整備を行い、前面道路まで復旧調整します。									

(2)生活への支援に関する取組

1ー1 被災者の生活設計に向けた時間提示										
取組目標	基盤整備事業についての工程表の公表									
実施内容	伊豆山の復興に向けた基盤整備事業について、施工に関する工程表を作成し、公表することで、地元への周知を図る。また、事業進捗に伴い適宜、修正を行い、周知を図る。									
完了目標年度	令和 8 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	工程表の公表									
	適宜、修正・周知									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	公表 適宜、修正・周知				達成		—		
	R7	適宜、修正・周知				達成		—		
R8	適宜、修正・周知				—		—			
長期	—				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	適宜、修正・周知	公表		適宜、修正・周知		適宜、修正・周知		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	計画の公表、工事スケジュール、進捗状況の周知については、地区別説明会、懇話会等、ホームページや広報誌、掲示板なども利用しながら行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	基盤整備事業は令和 8 年度末で暫定整備であるが終了となることから、引き続き適宜修正・周知を行っていく。									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第5章 3 将来像実現に向けた取組内容(4)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●事業や工事の実施状況等の途中経過やスケジュールについて、市のホームページや広報誌などの活用や模型展示、地区内の交流施設などを活用した情報共有・発信拠点の設置などにより定期的に情報発信します。									

1ー2 被災者の生活設計に向けた時間提示										
取組目標	ライフライン復旧についての工程表の公表									
実施内容	被災者の生活再建に向けて実施するライフライン復旧について、各事業者との調整を行い、ライフライン復旧に関する工程表を作成・公表する。									
完了目標年度	令和 8 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	工程表の公表									
	適宜、修正・周知									
	年度	取組みの具体内容			達成状況			事業費		
	短期	公表 適宜、修正・周知			達成			—		
	R7	適宜、修正・周知			達成			—		
	R8	適宜、修正・周知			—			—		
	長期	—			—			—		
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	適宜、修正・周知	未公表		適宜、修正・周知		適宜、修正・周知		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	ライフライン復旧については、道路整備事業と同時に進行するため、ライフラインのみ特出しで周知を行うことはなかったが、現地で生活再建された方々のライフラインは復旧済み。									
今後の展望 ※令和8年度以降	基盤整備事業は暫定整備であるが令和 8 年度末で終了となることから、引き続き適宜修正・周知を行っていく。									
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第5章 3 将来像実現に向けた取組内容(4)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●事業や工事の実施状況等の途中経過やスケジュールについて、市のホームページや広報誌などの活用や模型展示、地区内の交流施設などを活用した情報共有・発信拠点の設置などにより定期的に情報発信します。									

2—1 見守りによる生活支援										
取組目標	見守り相談、関係機関へのつなぎの支援									
実施内容	生活支援相談員・市保健師による訪問・相談									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	ささえ違いセンターによる相談支援					関係機関による相談支援				
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	相談業務の実施				達成		18.4百万円		
	R7	相談業務の実施				達成		3.0百万円		
	R8	相談業務の実施				—		—		
長期	つなぎ				—		—			
総事業費	21.4百万円(予定)※他のささえ違いセンター事業含む									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	訪問等直接支援	訪問等直接支援		継続		生活再建状況に より継続		完了	
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、ささえ違いセンターを中核に訪問・電話等による見守り・相談支援を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	ささえ違いセンターの機能を被災者支援室に統合し、支援継続中の世帯を中心に、相談業務を継続していく。									
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課(ささえ違いセンター)									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●個々の被災者が抱える問題やニーズへの対応を図るため、相談体制を継続します。									

2ー2 見守りによる生活支援										
取組目標	高齢者、障がいのある方等の健康維持に関する支援									
実施内容	生活支援相談員・市保健師による訪問・相談									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	ささえ違いセンターによる相談支援					関係機関による相談支援				
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	相談業務の実施				達成		18.4百万円		
	R7	相談業務の実施				達成		3.0 百万円		
	R8	相談業務の実施				—		—		
	長期	訪問・相談				—		—		
総事業費	21.4 百万円(予定)※他のささえ違いセンター事業含む									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	訪問等直接支援	訪問等直接支援		継続		生活再建状況に より継続		完了		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、ささえ違いセンターを中核に訪問・電話等による見守り・相談支援を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	ささえ違いセンターの機能を被災者支援室に統合し、支援継続中の世帯を中心に、相談業務を継続していく。									
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課(ささえ違いセンター)									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第 4 章 7 生活環境に関する方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●個々の被災者が抱える問題やニーズへの対応を図るため、相談体制を継続します。									

2—3 見守りによる生活支援											
取組目標	交流の場づくりの推進										
実施内容	いずさんっちの活用										
完了目標年度	令和13年度										
実施スケジュール	短期			中期		長期					
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
	いずさんっちの活用				地域コミュニティの再生状況により継続						
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費			
	短期	地域交流事業の実施				達成		18.4百万円			
	R7	地域交流事業の実施				達成		3.0百万円			
R8	地域交流事業の実施				—		—				
長期	被災地域の地域再生				—		—				
総事業費	21.4百万円(予定)※他のささえ逢いセンター事業含む										
目標値 ※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)			
	いずさんっち 開催	いずさんっち 開催		継続		地域のコミュ ニティ再生の 状況により継 続		地域のコミュ ニティ再生の 状況により継 続			
実施イメージ	—										
これまでの総括 ※令和7年度時点	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、見守り・相談支援のほか、地域交流拠点(いずさんっち)においてイベント等を開催し、地域との交流機会の創出を図った。										
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度に新設された伊豆山コミュニティ防災センターに活動拠点を移し、社会福祉協議会の地域サロン活動として地域交流事業を継続してゆく。										
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課(ささえ逢いセンター)										
【参考】復興まちづくり計画との関係性											
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針(3)										
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項											

3ー1 被災事業者に対する支援										
取組目標	熱海市被災中小企業復旧支援事業費補助金									
実施内容	熱海市被災中小企業復旧支援事業費補助金									
完了目標年度	令和 5 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	復旧支援									
総事業費	32.7 百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	32 件		29 件		－		－		－	
実施イメージ	－									
これまでの総括 ※令和7年度時点	－									
今後の展望 ※令和8年度以降	－									
担当課	熱海市 観光建設部 観光経済課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第5章 2 生活再建等の支援									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●被災した事業者に対する支援として、静岡県による被災中小企業復旧支援事業費補助金及び小規模事業者持続化補助金の上乗せ補助を実施します。									

3—2 被災事業者に対する支援																																								
取組目標	熱海市チャレンジ応援センター（A-supō）での経営相談																																							
実施内容	熱海市チャレンジ応援センター（A-supō）での経営相談																																							
完了目標年度	—																																							
実施 スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="10">経営安定化相談</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	経営安定化相談									
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	経営安定化相談																																							
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	経営相談				—		—																																
	R7	経営相談				—		—																																
R8	経営相談				—		—																																	
長期	経営相談				—		—																																	
総事業費	—																																							
目標値	実績値 （昨年度/累積）		当初値 （R4）		短期目標値 （R6）		中期目標値 （R8）		長期目標値 （R13）																															
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	1件/7件		2件		—		—		—																															
実施イメージ	—																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	被災事業者の事業再開に関する直接的な相談対応について、概ね完了したものと判断しています。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	被災事業者の事業再開に関する相談は減少傾向にありますが、引き続き事業再開、経営相談等の支援を行います。																																							
担当課	熱海市 観光経済部 観光経済課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針(3)																																							
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●事業再開などの生活に関して、個々の被災者が抱える問題やニーズへの対応を図るための相談体制の継続・強化を図ります。																																							

4-1 地域交通の確保																																																
取組目標	公共交通に関する調査																																															
実施内容	4-2とも連動するが、公共交通に関する調査については、行政、事業者、地域を主体とする地域公共交通活性化協議会において課題を抽出し、対策を講じていく。この協議会であげられた内容について各種調査を進め課題解決を目指していく。																																															
完了目標年度	令和13年度																																															
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="4">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td></td><td></td><td>策定</td><td></td><td></td><td></td><td>策定</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="4">計画R6-10（毎年検証）</td><td colspan="3">計画R11-16</td></tr></table>									短期			中期		長期				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13			策定				策定							計画R6-10（毎年検証）				計画R11-16		
短期			中期		長期																																											
R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																							
		策定				策定																																										
			計画R6-10（毎年検証）				計画R11-16																																									
	年度	取組みの具体内容			達成状況		事業費																																									
	短期	協議会設立・素案策定・計画策定			達成		8百万																																									
	R7	計画ローリング			達成		—																																									
	R8	計画ローリング			—		—																																									
	長期	計画ローリング・見直し			—		5百万																																									
総事業費	13.0百万円																																															
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)	短期目標値 (R6)	中期目標値 (R8)	長期目標値 (R13)																																											
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	計画ローリング	—	調査完了	計画ローリング	計画ローリング・見直し																																											
実施イメージ	4-2と連動させながら実施をしていくが、令和6年度に策定させる地域公共交通計画をもって当初段階の調査を完了させ、これを毎年確認していく。5か年計画であることから、中間で全体的な見直しを行い、交通状況の実態を捉えていく。																																															
これまでの総括 ※令和7年度時点	令和6年度に地域公共交通計画を策定、毎年指標を調査し協議会にて進捗状況を確認している。																																															
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き熱海市地域公共交通計画に基づき課題に取り組んでいく。																																															
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課																																															
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																
復興まちづくり計画との対応	第4章 2 道路・交通の方針(2)																																															
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●既存の路線バスの運行サービスを継続していくとともに、より快適なバス利用を目指して、地区住民の意向や利用状況等を踏まえた運行ダイヤ・運行ルートの見直しをバス事業者に要望していきます。また、伊豆山地区において実証実験を含む新たな公共交通に関する提案があった場合については、公共交通計画(R6.6策定)に沿った対応をしていきます。																																															

4-2 地域交通の確保										
取組目標	公共交通の総合的な見直し									
実施内容	4-1とも連動するが、行政、事業者、地域を主体とする地域公共交通活性化協議会において令和6年度に地域公共交通計画を策定する。この計画を足掛かりとして毎年行われる検証(ローリング)と次回の策定により絶え間なく公共交通の課題について取組んでいく。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	策定					策定				
	計画R6-10 (毎年検証)					計画R11-16				
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	協議会設立・計画策定				達成		8百万		
	R7	計画ローリング				達成		—		
	R8	計画ローリング				—		—		
	長期	計画ローリング・見直し				—		5百万		
総事業費	13.0百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)			短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	計画ローリング	—			調査完了		計画ローリング		計画ローリング・ 見直し	
実施イメージ	4-1とも連動するが、令和6年度に策定をする地域公共交通計画を契機として、毎年行われる検証(ローリング)と次回の策定により絶え間なく公共交通の課題について取組んでいく。									
これまでの総括 ※令和7年度時点	令和6年度に地域公共交通計画を策定、毎年指標を調査し協議会にて進捗状況を確認している。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き熱海市地域公共交通計画に基づき課題に取り組んでいく。									
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 2 道路・交通の方針(2) 8 創造的復興に関する方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●既存の路線バスの運行サービスを継続していくとともに、より快適なバス利用を目指して、地区住民の意向や利用状況等を踏まえた運行ダイヤ・運行ルートの見直しをバス事業者に要望していきます。また、伊豆山地区において実証実験を含む新たな公共交通に関する提案があった場合については、公共交通計画(R6. 6策定)に沿った対応をしていきます。 ○地区の高齢化が進行する中で、自家用車の運転が困難となる世帯が増加することが懸念されることから、電動カートや小型電動バスなどを活用した地区に見合った新たな移動支援のサービスを検討していきます。									

4—3 地域交通の確保										
取組目標	既存の路線バスの運行継続									
実施内容	令和4年度において伊豆山地区におけるバス路線について単独維持困難の申出があり審議の結果令和5年度から補助金交付をすることとなった。この間、既存バス路線は維持されているが、今後についても令和6年度策定予定の地域公共交通計画において、公共交通サービスの維持を市全体の方針とすることで、取組目標と合致させていく。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	審議			路線の維持に向けた取り組み						
	補助金									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	補助金交付				達成		16.1 百万		
R7	補助金交付				達成		16.2 百万			
R8	補助金交付				—		16.8 百万			
長期	維持に向けた取組				—		—			
総事業費	49.1 百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	路線維持	路線維持		路線維持		路線維持		路線維持		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度										
実施イメージ	現在、路線維持のために必要な施策としては不採算路線(伊豆山地区)について補助金交付をしている。今後、どのような内容で路線を維持していくか、事業者や地元の意見をききながら施策を立てる。地域公共交通計画の方針に沿って交通施策を検討していく。									
これまでの総括 ※令和7年度時点	実施スケジュールに則り取組を実施している。令和7年度から国の補助も受け運行継続中。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き路線を維持していく。									
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 2 道路・交通の方針(2)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点	●既存の路線バスの運行サービスを継続していくとともに、より快適なバス利用を目指して、地区住民の意向や利用状況等を踏まえた運行ダイヤ・運行ルートの見直しをバス事業者に要望していきます。また、伊豆山地区において実証実験を含む新たな公共交通に関する提案があった場合については、公共交通計画(R6.6策定)に沿った対応をしていきます。									
○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項										

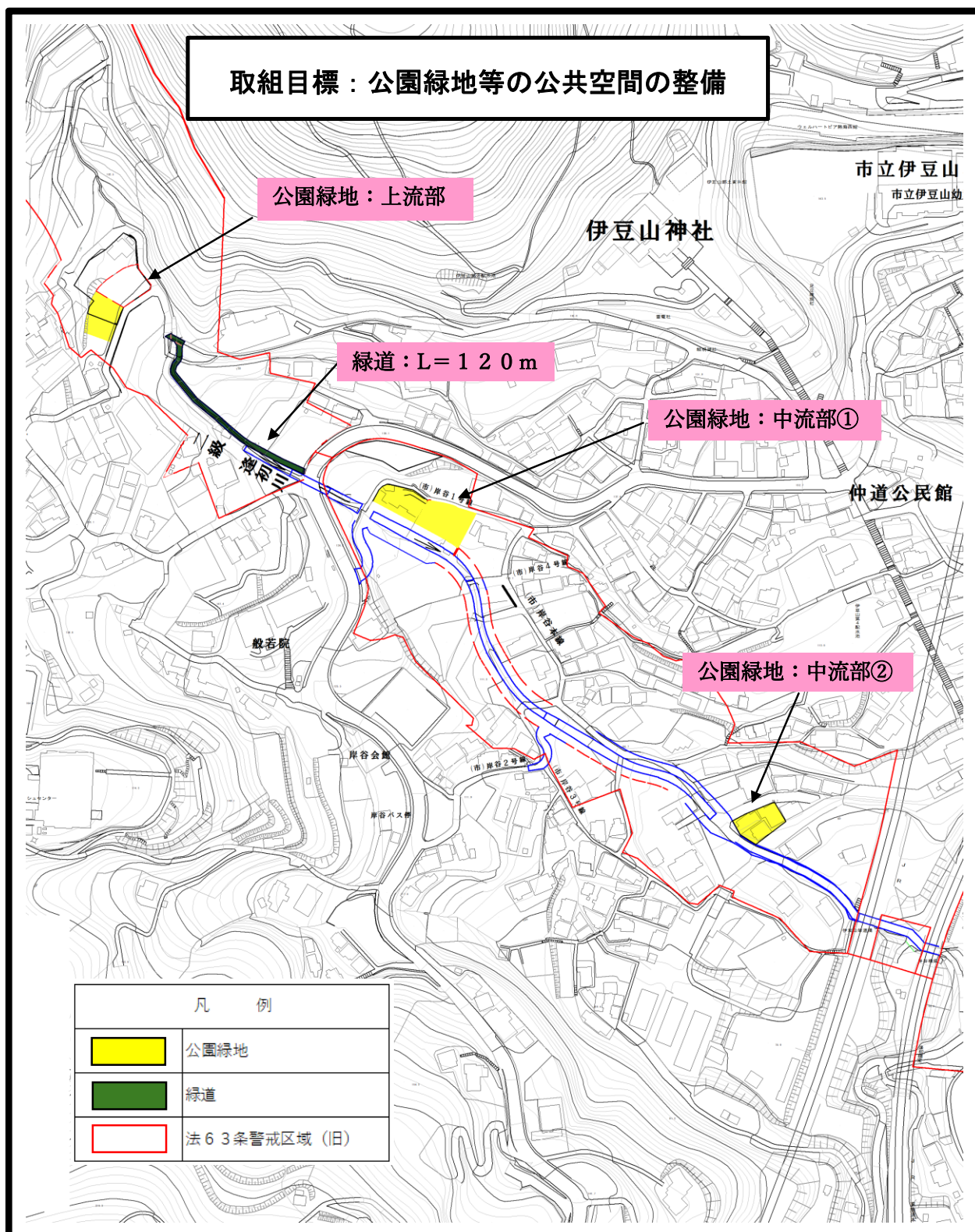
5—1 安心できる子育て環境の整備										
取組目標	子どものいる世帯における心のケア及び支援									
実施内容	生活支援相談員・市の保健師による訪問・相談									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	ささえ違いセンターによる相談支援					関係機関による相談支援				
	年度		取組みの具体内容			達成状況		事業費		
	短期		相談業務の実施			達成		18.4百万円		
	R7		相談業務の実施			達成		3.0百万円		
	R8		相談業務の実施			—		—		
長期		訪問・相談			継続		—			
総事業費	21.4百万円(予定)※他のささえ違いセンター事業含む									
目標値 ※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)	
	訪問等直接支援		訪問等直接支援		継続		生活再建状況に より継続		完了	
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、ささえ違いセンターを中核に訪問・電話等による見守り・相談支援を行った。									
今後の展望 ※令和8年度以降	ささえ違いセンターの機能を被災者支援室に統合し、支援継続中の世帯を中心に、相談業務を継続していく。									
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課(ささえ違いセンター)									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●個々の被災者が抱える問題やニーズへの対応を図るための相談体制の継続・強化を図ります。									

5—2 安心できる子育て環境の整備																																																																																
取組目標	安全な通学路の整備・維持管理																																																																															
実施内容	通学路の維持管理及び市道伊豆山神社線の未整備区間(伊豆山小学校付近)の整備。 特に、通学路の整備・維持管理については、教育委員会、警察、道路管理者(県・市)で協力し、実施していく。																																																																															
完了目標年度	令和 13 年度																																																																															
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="10">通学路の維持管理</td></tr><tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">調査・設計</td><td colspan="5">用地買収・工事</td></tr><tr><td colspan="10"></td></tr><tr><td colspan="10"></td></tr><tr><td colspan="10"></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	通学路の維持管理													調査・設計		用地買収・工事																																		
	短期			中期		長期																																																																										
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																																																						
	通学路の維持管理																																																																															
				調査・設計		用地買収・工事																																																																										
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																																																								
	短期	通学路の維持管理				達成		—																																																																								
	R7	通学路の維持管理 詳細設計				継続		—																																																																								
	R8	通学路の維持管理 用地測量・補償費算出				—		—																																																																								
	長期	通学路の維持管理 用地買収・工事				—		—																																																																								
総事業費	未定																																																																															
目標値	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																																																							
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	通学路の維持管理		通学路の維持管理		通学路の維持管理		通学路の維持管理 調査・設計		通学路の維持管理 用地買収・工事																																																																							
実施イメージ	—																																																																															
これまでの総括 ※令和7年度時点	通学路の維持管理を行うとともに、狭あい部分については、詳細設計を行い、拡幅に向けて準備を進めている。																																																																															
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度は引続き通学路の維持管理を行うとともに、詳細設計を行い、補償費を算出、令和9年度以降、用地買収・工事を進める。																																																																															
担当課	熱海市 教育委員会 学校教育課 熱海市 観光建設部 都市整備課																																																																															
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																																																
復興まちづくり計画との対応	第4章 4 防災の方針(6)																																																																															
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○避難の安全性を高めるため、避難所(伊豆山小学校)、緊急避難場所に通じる狭あい道路の拡幅・改修を進めます。																																																																															

5ー3 安心できる子育て環境の整備																																								
取組目標	地域で行う子どもの見守り活動等に対する支援																																							
実施内容	地域コミュニティが行う子どもの見守り活動や地域づくり等に対する支援の充実(コミュニティ活動に対する補助等)																																							
完了目標年度	令和13年度																																							
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="10">地域のコミュニティが行う子どもの見守り等のコミュニティ活動に対する補助</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	地域のコミュニティが行う子どもの見守り等のコミュニティ活動に対する補助									
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	地域のコミュニティが行う子どもの見守り等のコミュニティ活動に対する補助																																							
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	財政的支援の実施				達成		0.4百万円																																
	R7	財政的支援の実施				達成		0.03百万円																																
R8	財政的支援の実施				—		—																																	
長期	財政的支援の実施				—		—																																	
総事業費	不明																																							
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																
	※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	1件／3件		財政的支援の実施		財政的支援の実施		地域のコミュニティ 再生の状況により 継続																																
実施イメージ	—																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	R4年度は2件の地域コミュニティ活動推進事業補助金を交付し、R7年度には1件の地域コミュニティ活動推進事業補助金(LED防犯灯)を交付した。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	こどもの見守り活動等の環境整備を担う町内会に対し、必要に応じた財政的支援を継続する。																																							
担当課	熱海市 市民生活部地域協働課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針(3)																																							
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●町内行事・町内活動の創造、伊豆山地区7町内会の交流拡大など、地域が主体となってコミュニティの再生・充実を図ります。																																							

6ー1 地域コミュニティの再生支援										
取組目標	町内会等への地域コミュニティ活性化の支援									
実施内容	地域の復興、コミュニティの状況に応じた地域コミュニティの再生支援									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	町内会等への地域コミュニティの活性化支援									
	年度	取組みの具体内容			達成状況		事業費			
	短期	財政的支援の実施			達成		0.7百万円			
	R7	財政的支援の実施			—		—			
	R8	財政的支援の実施			—		—			
	長期	財政的支援の実施			—		—			
総事業費	不明									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	0件/1件		財政的支援の実施		財政的支援の実施		地域の復興、コミュニティの状況により継続		地域の復興、コミュニティの状況により継続
実施イメージ	不明									
これまでの総括 ※令和7年度時点	R4年度に1件の協働の地域づくり交付金を交付した。									
今後の展望 ※令和8年度以降	各町内会が連携して行う地域活動に対し、必要に応じた財政的支援を継続する。									
担当課	熱海市 市民生活部 地域協働課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針(3)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点	●町内行事・町内活動の創造、伊豆山地区7町内会の交流拡大など、地域が主体となってコミュニティの再生・充実を図ります。									
○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項										

6—2 地域コミュニティの再生支援																																																												
取組目標	公園緑地等の公共空間の整備																																																											
実施内容	地区内の住民同士や来訪者などが憩いや交流の場として、気軽に利用できるような公共空間を整備します。																																																											
完了目標年度	令和8年度																																																											
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="5">意見聴取・整備内容検討</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>測量</td><td>設計</td><td>工事</td><td colspan="5">維持管理</td></tr><tr><td colspan="5">用地買収</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	意見聴取・整備内容検討												測量	設計	工事	維持管理					用地買収									
	短期			中期		長期																																																						
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																																																		
	意見聴取・整備内容検討																																																											
			測量	設計	工事	維持管理																																																						
	用地買収																																																											
年度	取組みの具体内容				達成状況			事業費																																																				
短期	意見聴取・整備内容検討・ 測量・用地買収				達成			—																																																				
R7	意見聴取・整備内容検討・ 設計・用地買収				未達成			—																																																				
R8	意見聴取・整備内容検討・ 設計・用地買収				—			—																																																				
長期	工事・維持管理				—			—																																																				
総事業費	223 百万円(予定)																																																											
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)			短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																																			
	意見聴取・整備 内容検討・設計・ 用地買収	意見聴取・整備 内容検討			意見聴取・整備 内容検討・測量・ 用地買収		意見聴取・整備 内容検討・設計・ 用地買収・工事		工事・維持管理																																																			
実施イメージ	次頁参照																																																											
これまでの総括 ※令和7年度時点	現地測量を行い、公園整備に必要な用地取得を行い、公園 WS や地区別説明会などで多数の方から意見を伺い、公園の整備について設計を行いました。																																																											
今後の展望 ※令和8年度以降	公園整備箇所が、道路・河川工事の作業ヤードになっているため、令和9年度に造成及び緑化をし、地域の皆様の利用形態に合わせ公園を整備していきます。																																																											
担当課	熱海市 観光建設部 都市整備課																																																											
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																																												
復興まちづくり計画との対応	第4章 7 生活環境に関する方針 第5章 1 まちづくり事業の推進																																																											
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○逢初川の改修により地区の新たな軸線となる逢初川沿いに、公園緑地等の公共空間を整備していきます。 ○災害時の一時避難場所や移動時の休憩場、日常の憩い・交流の場となる公園緑地を逢初川沿いに整備していきます。																																																											



3.5 創造的復興に関する取組

(1) 地区内の環境向上に資する創造的取組

1—1 歴史を継承する地域文化の再生・形成										
取組目標	伊豆山地域の歴史文化に関わる講演会等									
実施内容	伊豆山地域の歴史文化の継承に寄与できる講座等を開催していく。									
完了目標年度	令和 8 年度									
実施 スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	事業実施の周知・実施方法の改善									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	伊豆山の歴史文化に関わる講演会の開催				達成		0.2 百万円		
	R7	講演会				達成		—		
	R8	講演会				—		0.1 百万円		
長期	—				—		—			
総事業費	0.3 百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	117名/333名	40 名		141 名		150 名		—		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	講演会の実施により地区の歴史文化資源の掘り起こしがされ、市民の関心を高めている。									
今後の展望 ※令和8年度以降	地区住民や観光事業者と協働で講演会等による更なる歴史文化資源の掘り起こし、情報発信と観光資源への磨き上げを進めていく。									
担当課	熱海市 教育委員会 生涯学習課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 8 創造的復興に関する方針(2)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●地区の歴史文化資源・観光資源の磨き上げやブランディングを行うとともに、その他の観光資源の掘り起こしを行い、魅力を高めていくための活動が望まれます。そのため、地区住民や観光事業者、必要に応じて大学などの地区外の人材も含めた検討・情報交換の場を設けていきます。									

2ー1 景観に配慮した地区まちづくり整備																																								
取組目標	公共施設を建設する際、関係部署へ景観施策の周知																																							
実施内容	伊豆山地区にかかる景観について、まずは公共投資が予定されている部門との協議をするが、投資が活発化する時期をみて、事業担当課及び財政担当課を対象とした事前説明会の必要性の有無を検討していく。 市の手続としては、公共投資を行う際、翌年度の当初予算要求にて関係部署は計画策定に入る。このため、予算編成がされる前段階(夏時期)に財政担当部署と協議の上で、事前相談を行うようにしているが、この取組を継続していく。																																							
完了目標年度	令和 13 年度																																							
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="10"> 予算要求前の事前周知・協議 </td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	予算要求前の事前周知・協議									
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	予算要求前の事前周知・協議																																							
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	予算編成前周知				達成		—																																
R7	予算編成前周知(継続)				達成		—																																	
R8	予算編成前周知(継続)				—		—																																	
長期	予算編成前周知(継続)				—		—																																	
総事業費	—																																							
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	実施	実施		継続実施		継続実施		継続実施																																
実施イメージ	当初予算編成前に協議を行うことを想定しているが、今後、年度途中の投資についても対応していくことが想定されるため、補正予算要求前に景観にかかる協議を行う旨を財政担当課と協力しながら周知していく。																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	実施スケジュールに基づき関係各課に周知を行っている。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	景観を守り育むため引き続き適切な周知を行っていく。																																							
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画との対応	第 4 章 8 創造的復興に関する方針(4)																																							
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●伊豆山の歴史や景観を今後とも守り育んでいくことを目指し、まずは公共施設については、復興後を見据えた上で景観法・景観計画に則り、景観まちづくりを進めていきます。																																							

2ー2 景観に配慮した地区まちづくり整備										
取組目標	公共施設を建設する際の協議、調整を行う仕組み作り									
実施内容	2ー1の考え方を広げた考え方となるが、公共投資を行う際、翌年度の当初予算要求にて関係部署は計画策定に入る。このため、予算編成がされる前段階(夏時期)に財政担当部署と協議の上で、事前相談を行うようにしているが、この取組を継続していく。									
完了目標年度	令和13年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	予算要求前の事前周知・協議									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	予算編成前周知				達成		—		
	R7	予算編成前周知(継続)				達成		—		
	R8	予算編成前周知(継続)				—		—		
長期	予算編成前周知(継続)				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	実施	実施		継続実施		継続実施		継続実施		
実施イメージ	当初予算編成前に協議を行うことを想定しているが、今後、年度途中の投資についても対応していくことが想定されるため、補正予算要求前に景観にかかる協議を行う旨を財政担当課と協力しながら周知していく。									
これまでの総括 ※令和7年度時点	実施スケジュールに基づき事業の担当課等と事前相談を行っている。									
今後の展望 ※令和8年度以降	景観を守り育むため引き続き事前相談を行っていく。									
担当課	熱海市 観光建設部 まちづくり課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 8 創造的復興に関する方針(4)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●伊豆山の歴史や景観を今後とも守り育んでいくことを目指し、まずは公共施設については、復興後を見据えた上で景観法・景観計画に則り、景観まちづくりを進めていきます。									

(2)地区外から人を呼び込む創造的取組

1-1 地域資源の活用																																								
取組目標	伊豆山温泉資源保護整備への補助と誘客 PR の実施																																							
実施内容	被害を受けた観光温泉施設の改修・改修された施設のPR																																							
完了目標年度	令和 13 年度																																							
実施 スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td colspan="10">維持支援による誘客強化</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	維持支援による誘客強化									
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	維持支援による誘客強化																																							
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	温泉資源保護等補助金の支払				達成		0.66 百万円																																
	R7	温泉資源保護等補助金の支払				達成		0.22 百万円																																
R8	温泉資源保護等補助金の支払				—		—																																	
長期	温泉資源保護等補助金の支払				—		—																																	
総事業費	0.88百万円																																							
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)	短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																	
	※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	補助金の交付 伊豆山地区の 観光 PR の実 施	補助金の交付 伊豆山地区の 観光 PR の実 施	伊豆山温泉組合 を通じ温泉資源 保護整備を継続 する 伊豆山観光協会 を通じ伊豆山地 区への回遊を高 めるための誘客 施策実施を継続		伊豆山温泉組合 を通じ温泉資源 保護整備を継続 する 伊豆山観光協会 を通じ伊豆山地 区への回遊を高 めるための誘客 施策実施を継続		伊豆山温泉組合 を通じ温泉資源 保護整備を継続 する 伊豆山観光協会 を通じ伊豆山地 区への回遊を高 めるための誘客 施策実施を継続																																
実施イメージ	—																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	伊豆山地区の温泉保護のため、伊豆山温泉組合を通じて事業を行う。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き温泉資源保護のため補助を行う。																																							
担当課	熱海市 観光建設部 観光経済課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画と の対応	第4章 5 歴史・自然に関する方針(3) 第4章 8 創造的復興に関する方針(2)																																							
内容 ※復興まちづくり計画 作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●浜浴場や足湯をはじめとした温泉資源も伊豆山の大事な資源であり、歴史 と観光が融合した魅力づくりに努めます。 ●地区の歴史文化資源・観光資源の磨き上げやブランディングを行うとともに、 その他の観光資源の掘り起こしを行い、魅力を高めていきます。																																							

1ー2 地域資源の活用										
取組目標	伊豆山地区の観光資源の継続的な PR									
実施内容	伊豆山観光協会を通じ誘客イベントの実施									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施 スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	維持支援による誘客強化									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	伊豆山観光協会へ誘客キャンペーン委託料の支払				達成		15.156 百万円 ※R4、R5、R6 合計		
	R7	伊豆山観光協会へ誘客キャンペーン委託料の支払				達成		5.052 百万円		
R8	伊豆山観光協会へ誘客キャンペーン委託料の支払				—		—			
長期	伊豆山観光協会へ誘客キャンペーン委託料の支払				—		—			
総事業費	20. 208百万円									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	伊 豆 山 観 光 協 会 へ、 誘 客 キ ャ ン ペ ー ン 委 託 料 の 支 払 い	誘客施策の実施		伊 豆 山 観 光 協 会 を 通 じ 継 続 実 施		伊 豆 山 観 光 協 会 を 通 じ 継 続 実 施		伊豆山観光協会を 通じ継続実施		
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	毎年度、伊豆山観光協会を通じて伊豆山地区への回遊性を高める施策を継続的に実施してきた。									
今後の展望 ※令和8年度以降	引き続き伊豆山地区への誘客につながる施策を継続する。									
担当課	熱海市 観光建設部 観光経済課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第4章 8 創造的復興に関する方針(2)									
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●地区の歴史文化資源・観光資源の磨き上げやブランディングを行うとともに、その他の観光資源の掘り起こしを行い、魅力を高めていきます。									

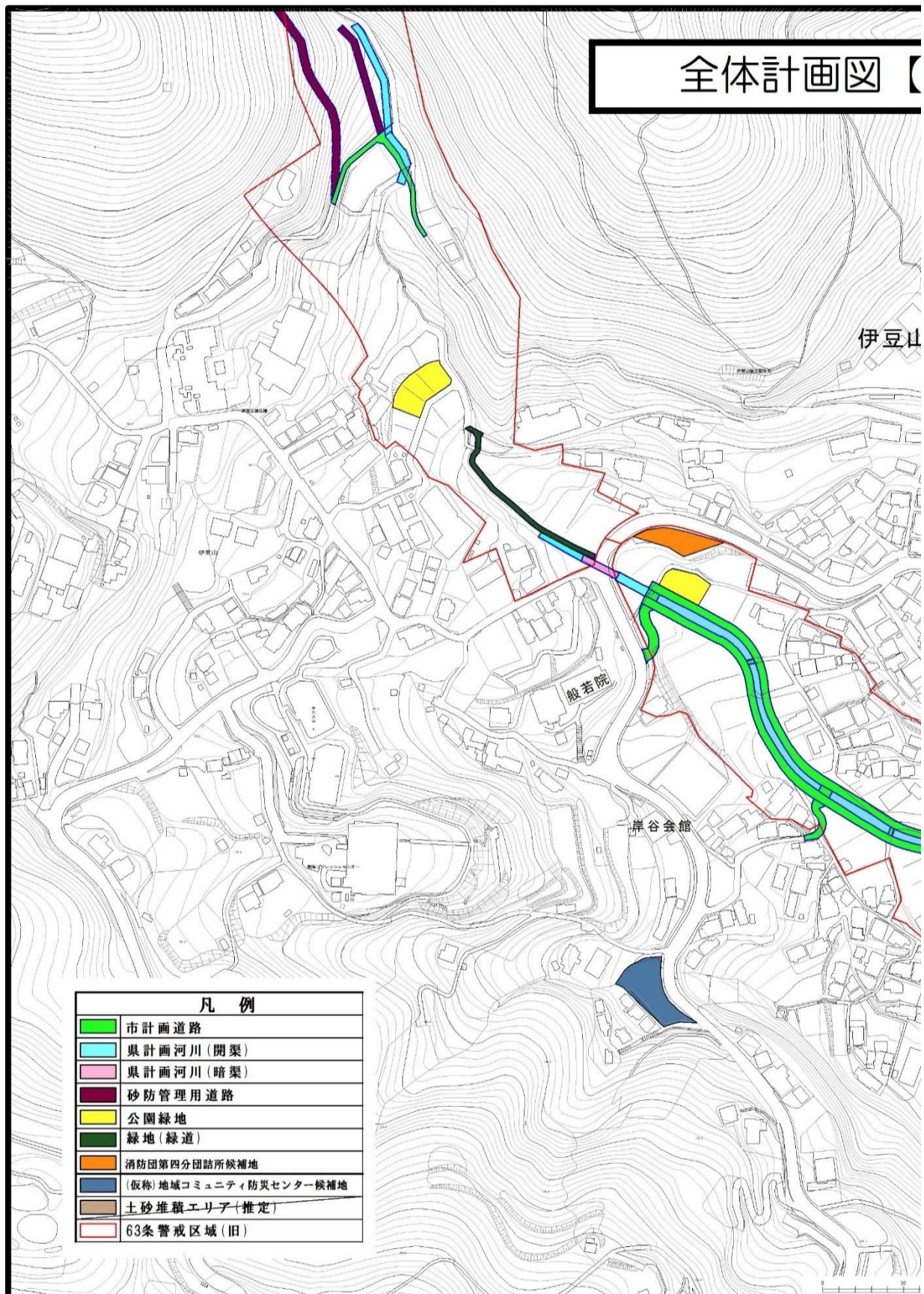
2ー1 伊豆山地区の活性化と多様な人材との協働																																								
取組目標	公有地(猪洞市営住宅跡地)の有効活用に向けた整備																																							
実施内容	令和8年度の完成に向けて、(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センター建設に向けた調査、設計、建設を行う。																																							
完了目標年度	令和13年度																																							
実施スケジュール	<table><tr><th colspan="3">短期</th><th colspan="2">中期</th><th colspan="5">長期</th></tr><tr><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td><td>R13</td></tr><tr><td colspan="3">公有地の施設整備</td><td>工事</td><td colspan="6">維持管理による機能強化</td></tr></table>										短期			中期		長期					R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	公有地の施設整備			工事	維持管理による機能強化					
	短期			中期		長期																																		
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13																														
	公有地の施設整備			工事	維持管理による機能強化																																			
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費																																
	短期	ボーリング等調査・設計				達成		38.4百万円																																
	R7	建設工事				達成		271.0百万円																																
R8	管理・運用				—		—																																	
長期	—				—		—																																	
総事業費	309.4百万円																																							
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)																																
	※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度	建設工事完了		建設検討		地質調査完了		100%																																
実施イメージ	—																																							
これまでの総括 ※令和7年度時点	ボーリング等調査を実施し、地元町内会長等の意向をうかがいながら、設計、建設工事を完了した。																																							
今後の展望 ※令和8年度以降	伊豆山コミュニティ防災センターの維持管理委託に関する覚書をもとに、管理・運用していく。																																							
担当課	熱海市 危機管理監 危機管理課																																							
【参考】復興まちづくり計画との関係性																																								
復興まちづくり計画との対応	第5章 1 まちづくり事業の推進(4)																																							
内容 ※復興まちづくり計画作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	○地区の防災や交流の拠点となる施設であるコミュニティ防災センターの整備を進めます。																																							

2ー2 伊豆山地区の活性化と多様な人材との協働											
取組目標	避難者と地域がつながる場の提供										
実施内容	いずさんっちの活用										
完了目標年度	令和 13 年度										
実施 スケジュール	短期			中期		長期					
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
	いずさんっちの活用				地域コミュニティの再生状況により継続						
	年度		取組みの具体内容			達成状況			事業費		
	短期		地域交流事業の実施			達成			18.4百万円		
	R7		地域交流事業の実施			達成			3.0 百万円		
	R8		地域交流事業の実施			—			—		
長期		被災地域の地域再生			—			—			
総事業費	21.4 百万円(予定)※他のささえ逢いセンター事業含む										
目標値 ※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和 4 年度～昨年度	実績値 (昨年度/累積)		当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	いずさんっち開催		いずさんっち開催		地域による運営 を目指す		地域コミュニティ の状況によって 判断		地域コミュニティ の状況によって 判断		
実施イメージ	—										
これまでの総括 ※令和7年度時点	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、見守り・相談支援のほか、地域交流拠点(いずさんっち)においてイベント等を開催し、地域との交流機会の創出を図った。										
今後の展望 ※令和8年度以降	令和8年度に新設された伊豆山コミュニティ防災センターに活動拠点を移し、社会福祉協議会の地域サロン活動として地域交流事業を継続してゆく。										
担当課	熱海市 健康福祉部 長寿介護課(ささえ逢いセンター)										
【参考】復興まちづくり計画との関係性											
復興まちづくり計画との対応	第 4 章 7 生活環境に関する方針(3)										
内容 ※復興まちづくり計画 作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項											

2ー3 伊豆山地区の活性化と多様な人材との協働										
取組目標	町内会(地域)と多様な人材との協働事業の支援									
実施内容	交流の場における外部人材の活動把握を継続しながら、復興の段階に応じ、町内会(地域)の要望をもとに、地域と地域コミュニティ活性化を支援する人材とのマッチング等の支援									
完了目標年度	令和 13 年度									
実施スケジュール	短期			中期		長期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	人材とのマッチング等の支援									
	年度	取組みの具体内容				達成状況		事業費		
	短期	外部人材の活動把握				達成		—		
	R7	外部人材の活動把握				達成		—		
	R8	人材とのマッチング支援				—		—		
長期	人材とのマッチング支援				—		—			
総事業費	—									
目標値	実績値 (昨年度/累積)	当初値 (R4)		短期目標値 (R6)		中期目標値 (R8)		長期目標値 (R13)		
	外部人材の活動 把握	外部人材の活動 把握		外部人材の活動 把握		地域の復興、コ ミュニティの状 況により実施		地域の復興、コ ミュニティの状 況により実施		
※実績値欄 昨年度:令和7年度 累積:令和4年度～昨年度										
実施イメージ	—									
これまでの総括 ※令和7年度時点	復興の段階に応じ、町内会(地域)の活動把握を行ってきた。									
今後の展望 ※令和8年度以降	町内会(地域)の要望をもとに、必要な支援を行っていく。									
担当課	熱海市 市民生活部 地域協働課									
【参考】復興まちづくり計画との関係性										
復興まちづくり計画との対応	第5章 3 将来像実現に向けた取組内容(6)									
内容 ※復興まちづくり計画 作成時点 ○:ハード整備に関連が深い事項 ●:ソフト整備に関連が深い事項	●町内会や小学校、伊豆山神社、消防団などの地区の地縁組織の活動を支援し、伊豆山の従前のコミュニティの再生・活性化を支援します。また、地区外の支援者やボランティア、NPO などとの触れ合いや交流を支援します。									

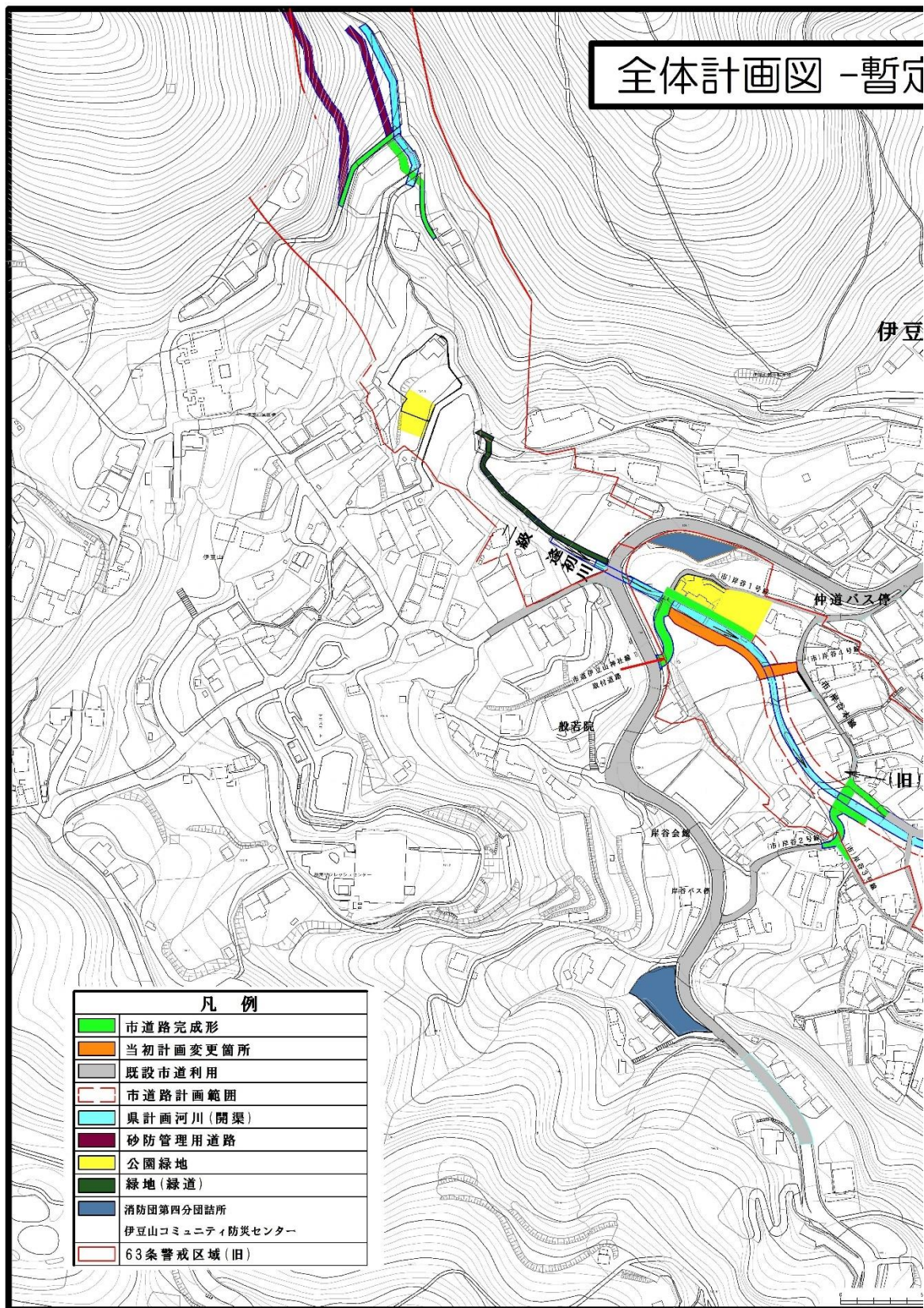
第4章 全体計画図について

熱海市伊豆山復興事業計画全体計画図は以下のように整理されます。





全体計画図 -暫定





熱 海 市
伊豆山復興推進本部

令和●年●月（第4版）